

資料編

資料①

市概況・・P. 109

資料②

ごみ排出量及び処理量予測・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 118

資料③

目標値の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 135

参考・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 144

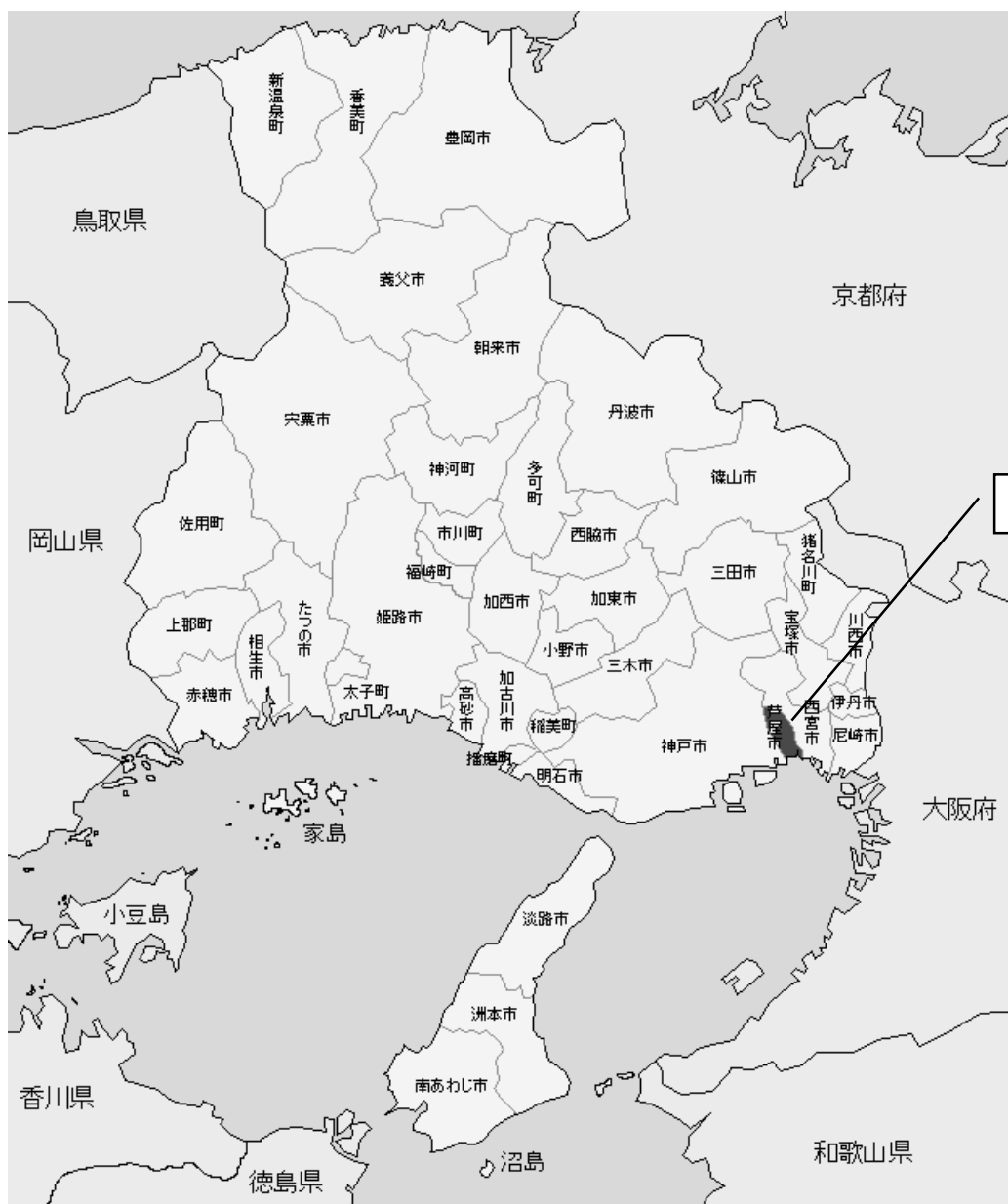
資料① 市概況

1 市の概況

(1) 位置

本市は、兵庫県の南東部に位置し、北及び東は西宮市、西は神戸市に隣接しています。南は、大阪湾に面し、六甲の山並みを背にして、気候温和な自然環境と便利な交通環境等、生活条件に恵まれた住宅都市となっています。

人口予測結果



(2) 気象

過去 5 年間の平均気温は、16.6～16.9℃であり、年間の降水量は、1,218.0～1,735.0mm となっています。

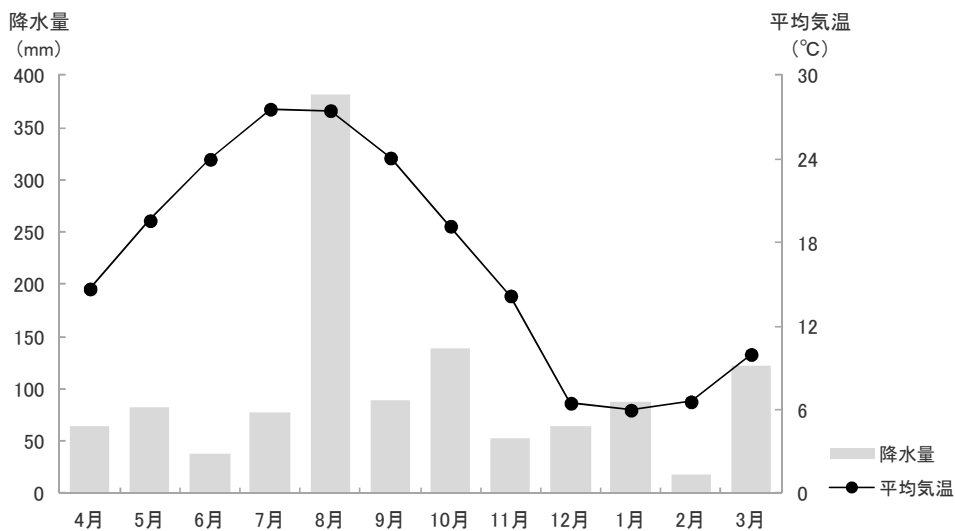
平成 26 年度の平均気温は、最高が 7 月の 27.6℃、最低が 1 月の 6.0℃であり、降水量は、年間で見ると 8 月が最も多くなっています。

気象状況

年度・月	気温(℃)			降水量 (mm)
	最高	最低	平均	
H22	36.9	△ 2.9	16.8	1,403.0
H23	35.9	△ 3.0	16.7	1,735.0
H24	37.0	△ 1.5	16.6	1,303.0
H25	37.4	△ 0.6	16.9	1,495.0
H26	36.5	△ 0.8	16.7	1,218.0
(H26) 4月	25.3	4.3	14.7	64.5
5月	30.7	10.7	19.6	82.0
6月	32.4	18.8	24.0	38.5
7月	36.5	20.5	27.6	77.0
8月	34.1	20.8	27.5	382.5
9月	32.1	16.9	24.1	88.5
10月	27.6	9.6	19.2	139.0
11月	22.1	5.5	14.2	53.5
12月	17.6	△ 0.5	6.5	64.0
(H27) 1月	14.0	0.0	6.0	87.5
2月	14.9	△ 0.8	6.6	18.0
3月	21.4	0.0	10.0	123.0

出典:「芦屋市統計書」(平成27年度版)

平均気温と降水量 (平成 26 年度)



(3) 人口

ア 人口及び世帯数の推移

過去 10 年間（平成 17～26 年度）における本市の人口及び世帯数は、増加傾向となっています。

平成 26 年度の人口は、96,897 人であり、世帯数は 44,184 世帯であることから、平均世帯人員は、2.19 人となっています。

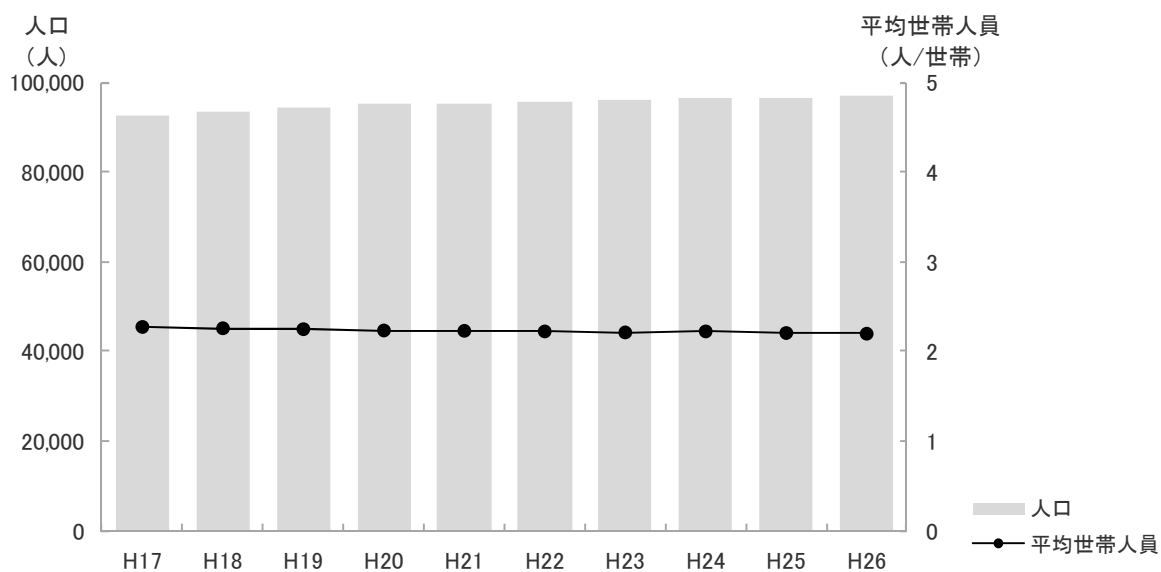
平均世帯人員は、平成 17 年度と比べて、0.08 人減少しており、家庭の小規模化や核家族化が進行していると考えられます。

人口及び世帯数の推移

年度	人口(人)		世帯数 (世帯)	平均世帯人員 (人/世帯)
		増加人口(人)		
H17	92,533	707	40,749	2.27
H18	93,498	965	41,478	2.25
H19	94,399	901	42,045	2.25
H20	94,979	580	42,589	2.23
H21	95,248	269	42,813	2.22
H22	95,493	245	43,025	2.22
H23	96,015	522	43,491	2.21
H24	96,613	598	43,524	2.22
H25	96,659	46	43,876	2.20
H26	96,897	238	44,184	2.19

※住民基本台帳10月1日の人口及び世帯数。

人口及び平均世帯人員の推移



イ 人口動態

本市の人口動態は、出生や死亡等の自然動態よりも、転入や転出等の社会動態が大きく影響しています。

過去 10 年間(平成 17~26 年度)における社会動態の内、転入人口及び転出人口は、増減を繰り返しながら減少傾向となっていますが、転入人口が常に転出人口を上回っていることが、人口の増加要因となっています。

人口動態

年度	自然動態(人)		社会動態(人)			
	出生	死亡	転入	転出	その他	
H17	88	811	817	7,090	6,315	42
H18	199	890	637	6,780	6,180	37
H19	113	890	702	6,846	6,141	△ 3
H20	145	828	569	6,469	5,884	△ 16
H21	50	841	9	5,799	5,775	△ 15
H22	△ 16	834	418	6,016	5,584	△ 14
H23	0	790	536	5,938	5,387	△ 15
H24	△ 56	786	380	5,899	5,454	△ 65
H25	△ 58	770	197	5,819	5,579	△ 43
H26	△ 96	783	187	5,523	5,338	2

出典:「芦屋市統計書」(平成27年度版)

※その他の増減とは、職権記載、住所設定、職権回復、帰化、転出取消、職権消除、国籍喪失等によるものである。婚姻・離婚は、市外在住の数も含まれる。

(4) 産業

事業所数及び従業者数ともに増加しています。

事業所数は、「卸売・小売業」が最も多く、次いで「不動産業、物品賃貸業」となっています。

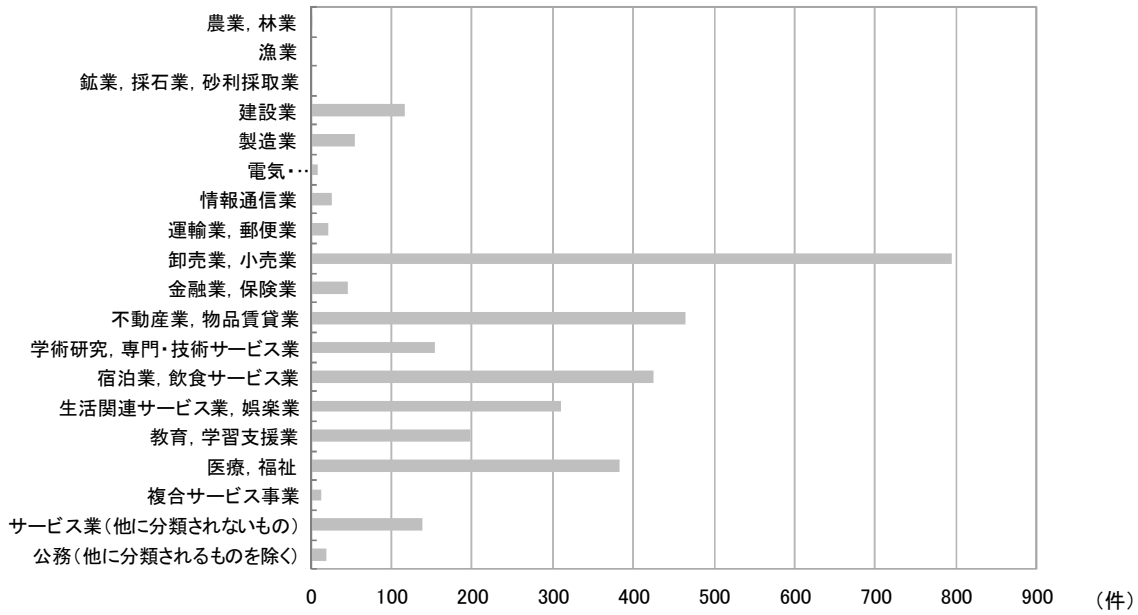
また、従業者数は、「卸売・小売業」が最も多く、次いで「医療福祉」となっています。

事業所数及び従業者数の推移

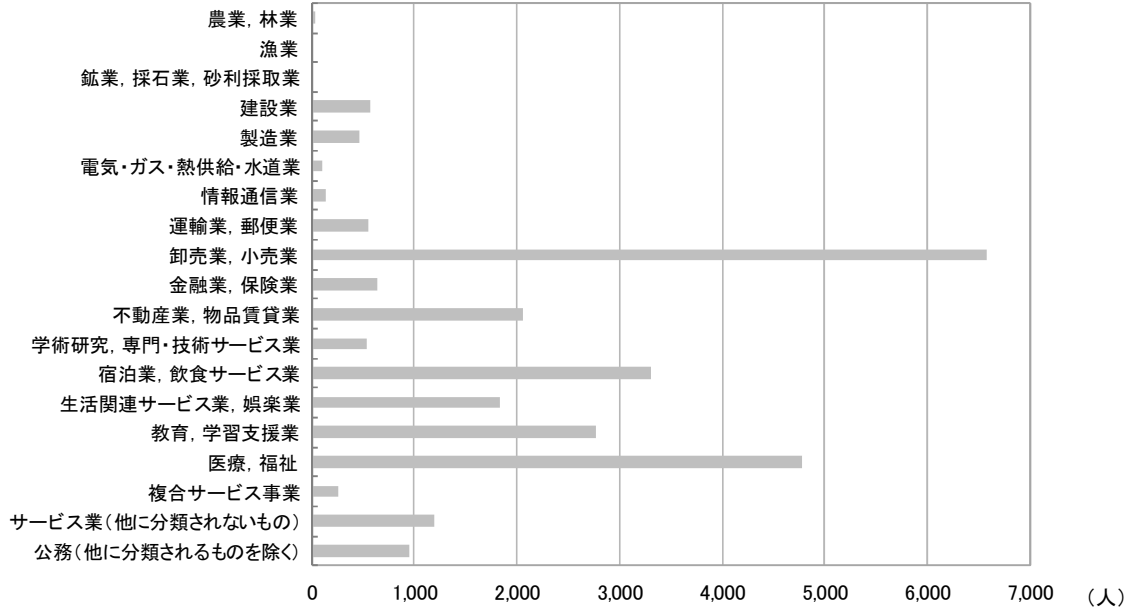
産業分類	事業所数(件)		従業者数(人)	
	H21	H26	H21	H26
第一次産業	5	3	48	31
農業, 林業	5	3	48	31
漁業	-	-	-	-
第二次産業	203	171	1,403	1,034
鉱業, 採石業, 砂利採取業	-	-	-	-
建設業	130	116	765	576
製造業	73	55	638	458
第三次産業	2,937	3,004	24,222	25,712
電気・ガス・熱供給・水道業	7	9	106	106
情報通信業	38	27	162	139
運輸業, 郵便業	28	22	1,010	552
卸売業, 小売業	841	794	5,524	6,585
金融業, 保険業	60	47	575	632
不動産業, 物品賃貸業	475	464	1,593	2,064
学術研究, 専門・技術サービス業	157	154	671	543
宿泊業, 飲食サービス業	393	425	3,578	3,314
生活関連サービス業, 娯楽業	273	311	1,711	1,831
教育, 学習支援業	188	198	2,941	2,765
医療, 福祉	294	383	3,932	4,776
複合サービス事業	12	12	106	265
サービス業(他に分類されないもの)	153	139	1,385	1,196
公務(他に分類されるものを除く)	18	19	928	944
合計	3,145	3,178	25,673	26,777

出典:「芦屋市統計書」(平成27年度版)

事業所数（平成 26 年度）



従業者数（平成 26 年度）



(5) 土地利用

ア 都市計画区域及び地域地区

本市のほぼ半分が「市街化区域」となっており、この内、「第1種低層住居専用地域」及び「第1種中高層住居専用地域」が大部分を占めています。

地域地区では、風致地区が60%程度を占めており、良好な自然景観に恵まれています。

都市計画区域及び地域地区の設定（平成27年度）

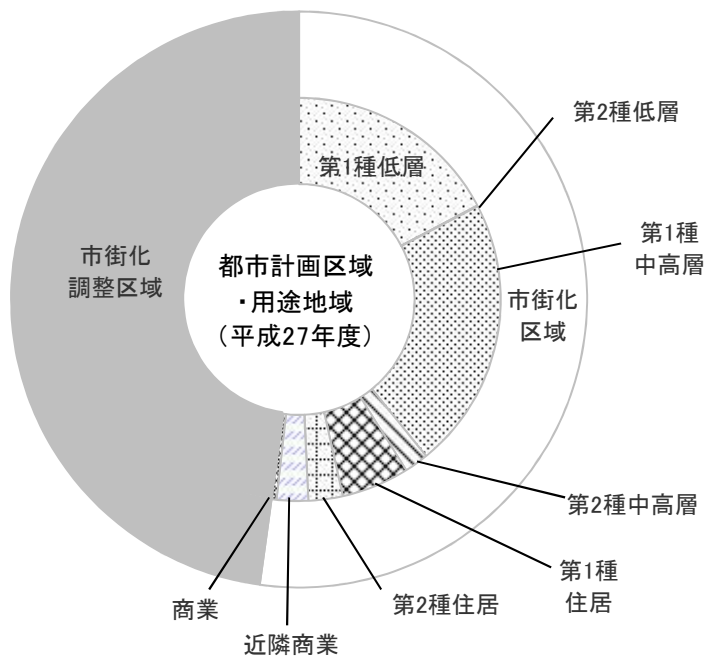
単位：ha

都市計画区域・用途地域		地域地区	
都市計画区域	1,857	第1種高度地区	322
市街化区域	969	第2種高度地区	427
第1種低層住居専用地域	321	第3種高度地区	41
第2種低層住居専用地域	1	第4種高度地区	44
第1種中高層住居専用地域	405	準防火地域	54
第2種中高層住居専用地域	36	六甲山風致地区	1,055
第1種住居地域	101	芦屋川風致地区	33
第2種住居地域	51	高度利用地区	8
近隣商業地域	47		
商業地域	7		
市街化調整区域	888		

出典：「芦屋市統計書」（平成27年度版）

※ 1ha(ヘクタール) = 10,000㎡

都市計画区域の設定（平成27年度）



イ 都市計画区域及び地域地区

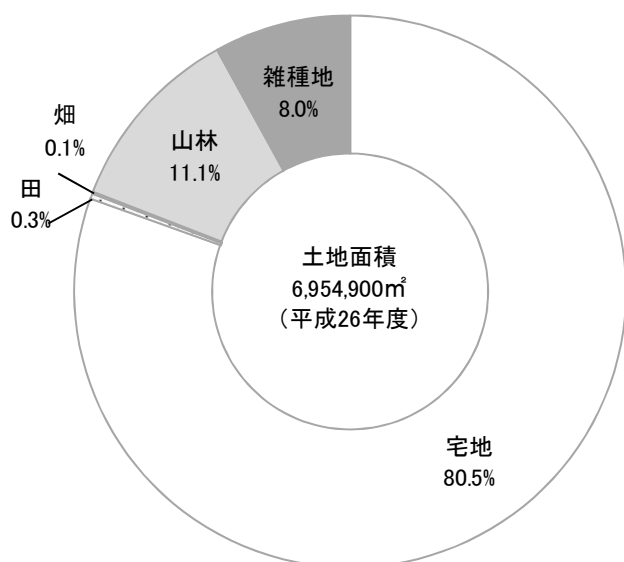
地目別に土地の利用状況を見ると、「宅地」が最も多く、80%程度を占めており、次いで、「山林」、「雑種地」となっています。

地目別土地面積（平成26年度）

区分		面積(m ²)
宅地		5,592,319
住宅用地	小規模住宅用地	3,719,205
	上記以外のもの	1,111,831
非住宅用地		761,283
田		23,802
畑		5,747
池沼		-
山林		773,497
原野		-
雑種地		559,535
ゴルフ場の用地		250,990
遊園地等の用地		22,956
鉄軌道用地		124,478
その他の雑種地		161,111
合計		6,954,900

出典：「芦屋市統計書」（平成27年度版）

地目別土地面積（平成26年度）



資料② ごみ排出量及び処理量予測

1 ごみ排出量及び処理量予測

(1) 人口予測

人口予測値は、「芦屋市将来人口推計報告書」を基に設定します。

ただし、前計画は、実績値に住民基本台帳（10月1日）の人口を採用しているのに対し、「芦屋市将来人口推計報告書」においては、国勢調査及び住民基本台帳より算出した推計人口を採用しています。そのため、本計画においては「芦屋市将来人口推計報告書」の推計人口に補正を行った人口を採用値とします。

各年度の人口を以下のとおりです。

人口予測結果

項目	第4次芦屋市 総合計画	実績	差	本計画	
実績	H22	93,238	95,493	2,255	95,493
	H23	93,760	96,015	2,255	96,015
	H24	94,358	96,613	2,255	96,613
	H25	94,404	96,659	2,255	96,659
	H26	94,642	96,897	2,255	96,897
	H27	94,851	96,616	1,765	96,616
予測	H28	94,958		1,765	96,723
	H29	95,065		1,765	96,830
	H30	95,172		1,765	96,937
	H31	95,279		1,765	97,044
	H32	95,384		1,765	97,149
	H33	95,517		1,765	97,282
	H34	95,650		1,765	97,415
	H35	95,783		1,765	97,548
	H36	95,916		1,765	97,681
	H37	96,051		1,765	97,816
	H38	95,561		1,765	97,326

※ 実績は住民基本台帳10月1日の人口。

(2) ごみ排出量予測

ア 予測方法

本市のごみ排出量予測は、過去6年間（平成22～27年度）の実績を基に行います。

市民の日常生活活動に伴って排出される生活系ごみ（ただし、粗大ごみ及び集団回収は除く。）については、1人1日当たりの排出量（g/人・日）を基に、一方で市民の日常生活活動とは別に臨時で発生する粗大ごみ、集団回収及び事業系ごみは、年間排出量（t/年）を基に予測します。

予測については、過去6年間の実績に一定の増減が認められる場合は最も近似する回帰式を最小二乗法で求めて行います。

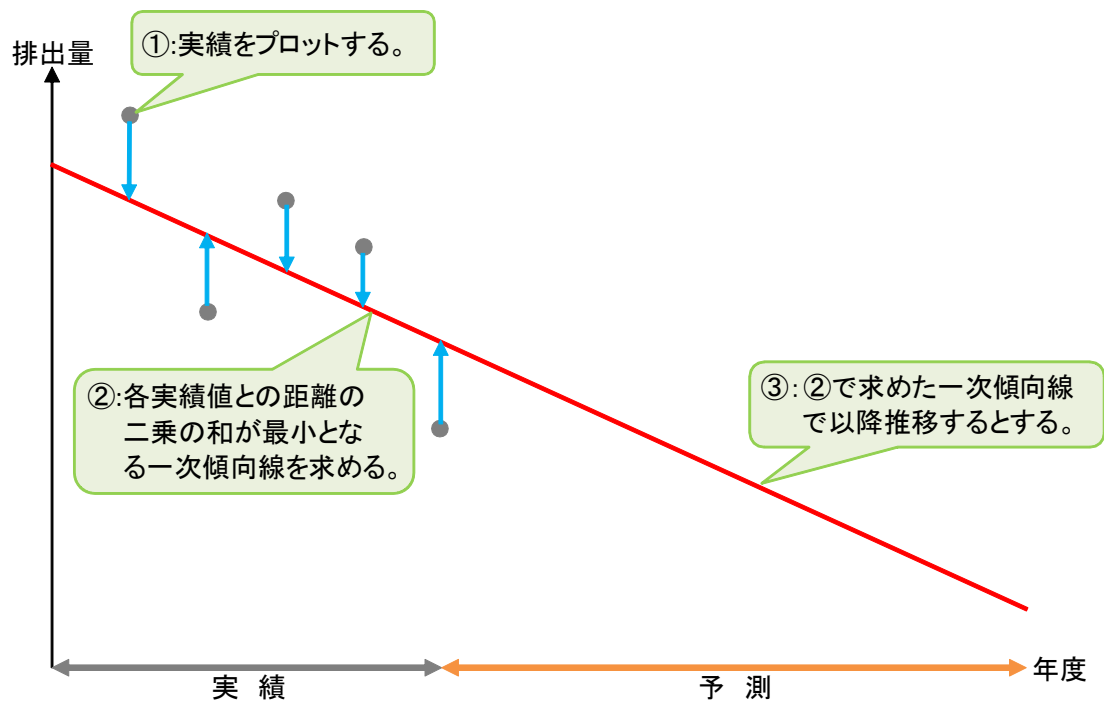
回帰式を求める方法として、次の6ケース（「ごみ処理施設構造指針解説」（厚生省水道環境部監修）に示される6式）について検討します。ただし、実績値の変動が大きく一定の傾向がない場合（相関係数が低い場合）や現実的でない場合には、現況固定（平成27年度の実績値で推移）や平均値により予測値を設定します。

①	一次傾向線	: $y = ax + b$
②	二次傾向線	: $y = ax^2 + bx + c$
③	一次指数曲線	: $y = a \times b^x$
④	べき曲線	: $y = y_0 + a \times x^b$
⑤	対数曲線	: $y = a \times \ln(x) + b$
⑥	ロジスティック曲線	: $y = K / (1 + e^{(a-bx)})$
	x	: 年度（基本年からの経過年数）
	y	: x年度（基本年からx年後）の推計値
	y ₀	: 実績初年度の値
	K	: 過去の実績値から求められる飽和値
	a, b, c	: 最小二乗法により求められる定数

傾向線の種類と概要

種類	概要
一次傾向線	将来の発生量は直線的に増加または減少します。
二次傾向線	上または下に凸の曲線で頂上(底)を超えると増加(減少)傾向が続く。長期間の予測式として採用する時は注意を要します。
一次指数曲線 べき曲線	式の係数により曲線の動きは異なるが、将来の発生量は急増(急減)するか、増加の傾向が徐々に穏やかになります。
対数曲線	将来の発生量の増加(減少)の動きが徐々に緩やかになります。
ロジスティック曲線	最初は緩やかに増加(減少)し、その後急激に増加(減少)します。一定値に(上限または下限)に達すると動きはほぼ横ばいとなります。

例：一次傾向線の場合



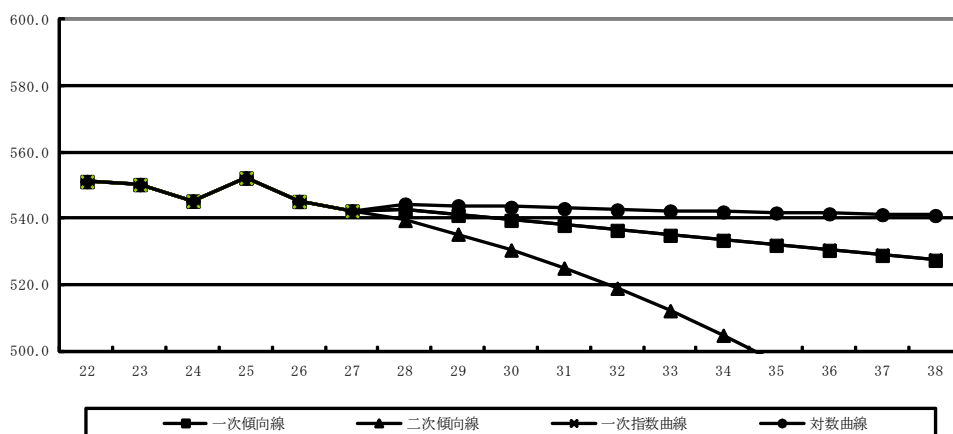
イ 排出量予測

(ア) 燃やすごみ（生活系）

過去6年間で緩やかな減少傾向を示しているため、相関係数が比較的高く、かつ緩やかな減少傾向を示す一次傾向線を採用します。

単位:g/人・日

年度	実績					
22	551.2					
23	550.3					
24	545.3					
25	552.3					
26	545.2					
27	542.3					
回帰式	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	対数曲線	ロジスティック曲線
28	542.5	539.4	542.5	-	544.4	-
29	541.0	535.3	541.0	-	543.9	-
30	539.5	530.5	539.5	-	543.5	-
31	538.0	525.0	538.0	-	543.0	-
32	536.5	518.9	536.5	-	542.7	-
33	534.9	512.2	535.1	-	542.3	-
34	533.4	504.7	533.6	-	542.0	-
35	531.9	496.7	532.1	-	541.7	-
36	530.4	487.9	530.6	-	541.5	-
37	528.9	478.5	529.2	-	541.2	-
38	527.4	468.5	527.7	-	541.0	-
採用値	○					
相関係数	0.69985	0.73441	0.69940	-	0.64330	-
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^x$	$Y=Y_0+aX^b$	$Y=a\ln X+b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$
a=	-1.51	-0.33	586.06	-	-3.91	-
b=	584.73	14.59	1.00	-	552.06	-
c=	-	388.46	-	-	-	-
Y_0 =	-	-	-	551.20	-	-
K=	-	-	-	-	-	-
X=	t	t	t	0,1,2,...	1,2,3,...	t

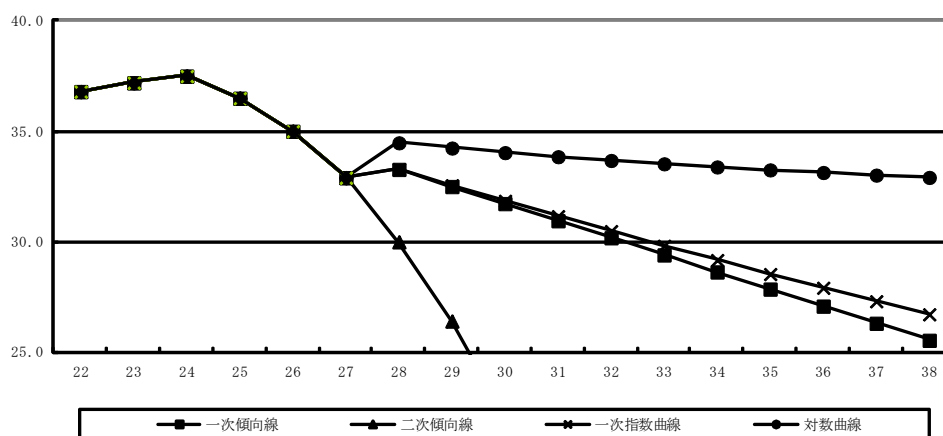


(イ) 紙資源（生活系）

平成24年度以降減少傾向を示しているため、相関係数が高く、かつ減少傾向を示す一次傾向線を採用します。

単位:g/人・日

年度	実績					
22	36.8					
23	37.2					
24	37.5					
25	36.5					
26	35.0					
27	32.9					
回帰式	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	対数曲線	ロジスティック曲線
28	33.3	30.0	33.3	-	34.5	-
29	32.5	26.4	32.6	-	34.2	-
30	31.7	22.1	31.9	-	34.0	-
31	31.0	17.1	31.2	-	33.9	-
32	30.2	11.4	30.5	-	33.7	-
33	29.4	5.0	29.8	-	33.5	-
34	28.6	-2.1	29.2	-	33.4	-
35	27.9	-9.9	28.5	-	33.3	-
36	27.1	-18.4	27.9	-	33.1	-
37	26.3	-27.6	27.3	-	33.0	-
38	25.5	-37.6	26.7	-	32.9	-
採用値	○					
相関係数	0.83112	0.99747	0.82216	-	0.67215	-
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^x$	$Y=Y_0+aX^b$	$Y=a\ln X+b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$
a=	-0.77	-0.35	61.63	-	-1.77	-
b=	54.95	16.46	0.98	-	37.92	-
c=	-	-155.18	-	-	-	-
Y_0 =	-	-	-	36.80	-	-
K=	-	-	-	-	-	-
X=	t	t	t	0,1,2,...	1,2,3,...	t

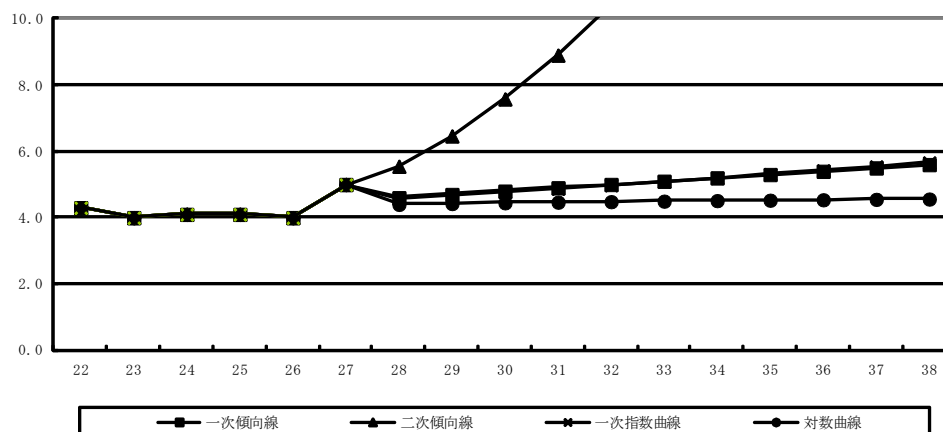


(ウ) ペットボトル（生活系）

平成26年度までは一定推移していましたが、平成27年4月より収集頻度を従来の月1回から2回へ変更したことにより回収量が増加したと考えられます。しかし、このまま増加傾向が維持されるとは考えにくいので、今後は平成27年度実績値で一定推移していくものとします。

単位:g/人・日

年度	実績					
22	4.3					
23	4.0					
24	4.1					
25	4.1					
26	4.0					
27	5.0					
回帰式	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	対数曲線	ロジスティック曲線
28	4.6	5.6	4.6	-	4.4	-
29	4.7	6.5	4.7	-	4.4	-
30	4.8	7.6	4.8	-	4.4	-
31	4.9	8.9	4.9	-	4.5	-
32	5.0	10.4	5.0	-	4.5	-
33	5.1	12.2	5.1	-	4.5	-
34	5.2	14.1	5.2	-	4.5	-
35	5.3	16.2	5.3	-	4.5	-
36	5.4	18.6	5.4	-	4.5	-
37	5.5	21.1	5.5	-	4.6	-
38	5.6	23.9	5.7	-	4.6	-
採用値						
相関係数	0.48795	0.87426	0.49935	-	0.31129	-
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^x$	$Y=Y_0+aX^b$	$Y=a\ln X+b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$
a=	0.10	0.10	2.50	-	0.18	-
b=	1.80	-4.89	1.02	-	4.05	-
c=	-	62.60	-	-	-	-
Y_0 =	-	-	-	4.30	-	-
K=	-	-	-	-	-	4.15
X=	t	t	t	0,1,2,...	1,2,3,...	t

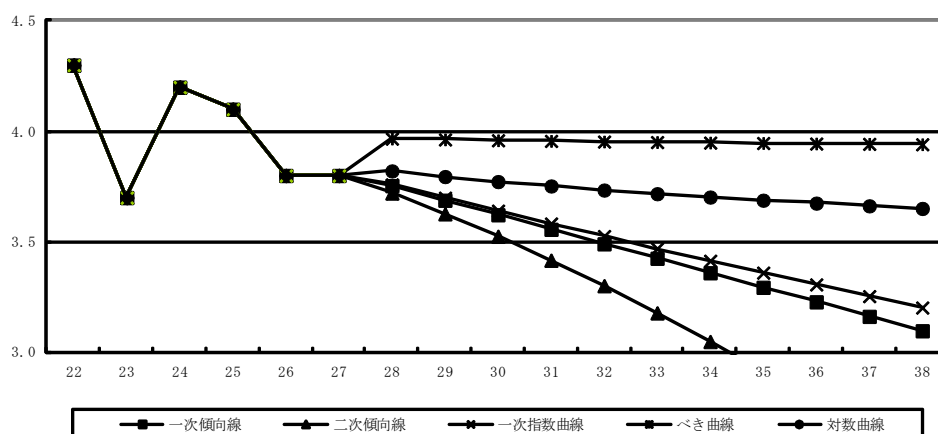


(I) 缶（生活系）

過去6年間で増減を繰り返しており一定の傾向が見られないため、今後は平成27年度実績値で一定推移していくものとします。

単位:g/人・日

年度	実績					
22	4.3					
23	3.7					
24	4.2					
25	4.1					
26	3.8					
27	3.8					
回帰式	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	対数曲線	ロジスティック曲線
28	3.8	3.7	3.8	4.0	3.8	-
29	3.7	3.6	3.7	4.0	3.8	-
30	3.6	3.5	3.6	4.0	3.8	-
31	3.6	3.4	3.6	4.0	3.8	-
32	3.5	3.3	3.5	4.0	3.7	-
33	3.4	3.2	3.5	4.0	3.7	-
34	3.4	3.0	3.4	3.9	3.7	-
35	3.3	2.9	3.4	3.9	3.7	-
36	3.2	2.8	3.3	3.9	3.7	-
37	3.2	2.6	3.3	3.9	3.7	-
38	3.1	2.5	3.2	3.9	3.7	-
採用値						
相関係数	0.49507	0.49663	0.49461	-0.04225	0.51069	-
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^x$	$Y=Y_0+aX^b$	$Y=a\ln X+b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$
a=	-0.07	0.00	5.89	-0.29	-0.19	-
b=	5.59	0.11	0.98	0.08	4.19	-
c=	-	3.46	-	-	-	-
Y_0 =	-	-	-	4.30	-	-
K=	-	-	-	-	-	-
X=	t	t	t	0,1,2,...	1,2,3,...	t

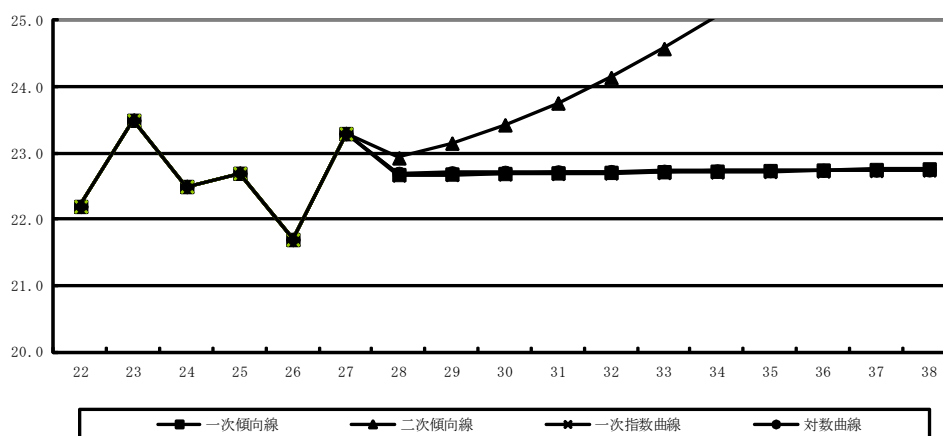


(オ) ビン（生活系）

過去6年間で増減を繰り返しており一定の傾向が見られないため、今後は平均値で一定推移していくものとします。

単位:g/人・日

年度	実績					
22	22.2					
23	23.5					
24	22.5					
25	22.7					
26	21.7					
27	23.3					
回帰式	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	対数曲線	ロジスティック曲線
28	22.7	22.9	22.7	-	22.7	-
29	22.7	23.2	22.7	-	22.7	-
30	22.7	23.4	22.7	-	22.7	-
31	22.7	23.8	22.7	-	22.7	-
32	22.7	24.1	22.7	-	22.7	-
33	22.7	24.6	22.7	-	22.7	-
34	22.7	25.1	22.7	-	22.7	-
35	22.7	25.6	22.7	-	22.7	-
36	22.7	26.2	22.7	-	22.7	-
37	22.8	26.9	22.7	-	22.7	-
38	22.8	27.6	22.7	-	22.8	-
採用値						
相関係数	0.02377	0.11108	0.02380	-	0.05789	-
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^x$	$Y=Y_0+aX^b$	$Y=a\ln X+b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$
a=	0.01	0.03	22.46	-	0.06	-
b=	22.44	-1.30	1.00	-	22.59	-
c=	-	38.44	-	-	-	-
Y_0 =	-	-	-	22.20	-	-
K=	-	-	-	-	-	22.67
X=	t	t	t	0,1,2,...	1,2,3,...	t

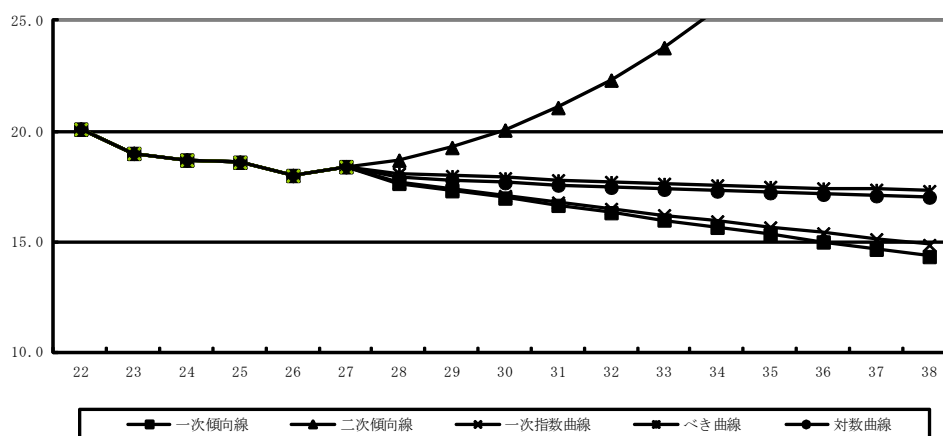


(カ) その他燃やさないごみ（生活系）

過去6年間で緩やかな減少傾向を示しているため、相関係数が高く、かつ緩やかな減少傾向を示す対数曲線を採用します。

単位:g/人・日

年度	実績					
22	20.1					
23	19.0					
24	18.7					
25	18.6					
26	18.0					
27	18.4					
回帰式	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	対数曲線	ロジスティック曲線
28	17.6	18.7	17.7	18.1	17.9	-
29	17.3	19.3	17.4	18.0	17.8	-
30	17.0	20.1	17.1	17.9	17.7	-
31	16.6	21.1	16.8	17.8	17.6	-
32	16.3	22.3	16.5	17.7	17.5	-
33	16.0	23.8	16.2	17.6	17.4	-
34	15.7	25.5	15.9	17.6	17.3	-
35	15.3	27.4	15.6	17.5	17.2	-
36	15.0	29.5	15.4	17.4	17.1	-
37	14.7	31.9	15.1	17.4	17.1	-
38	14.3	34.5	14.9	17.3	17.0	-
採用値					○	
相関係数	0.86318	0.96344	0.86855	0.83883	0.94654	-
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^x$	$Y=Y_0+aX^b$	$Y=a\ln X+b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$
a=	-0.33	0.11	28.78	-1.11	-1.03	-
b=	26.92	-5.84	0.98	0.33	19.93	-
c=	-	94.12	-	-	-	-
Y_0 =	-	-	-	20.10	-	-
K=	-	-	-	-	-	-
X=	t	t	t	0,1,2,...	1,2,3,...	t

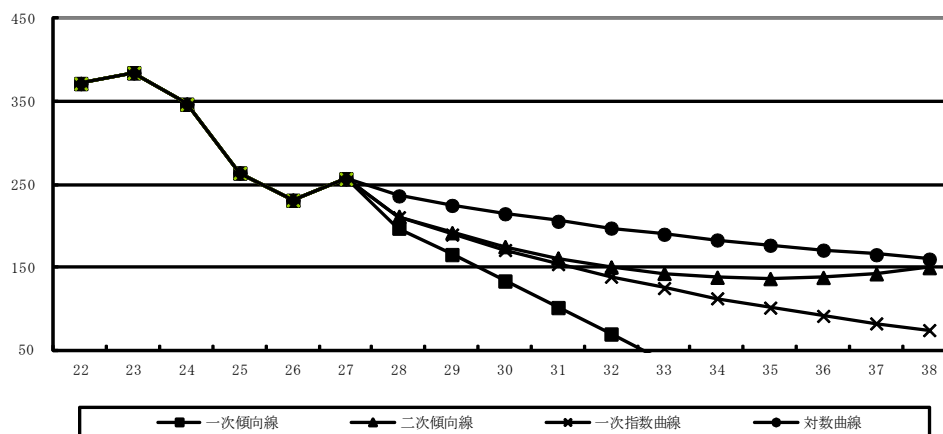


(キ) 粗大ごみ（生活系）

平成 26 年度を境に減少傾向から増加傾向へ転じており、現実的な推移を示す回帰式がないため、今後は平成 27 年度実績値で一定推移していくものとします。

単位:t/年

年度	実績					
22	372					
23	385					
24	347					
25	264					
26	231					
27	257					
回帰式	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	対数曲線	ロジスティック曲線
28	197	212	210	-	236	-
29	165	192	190	-	225	-
30	133	175	171	-	215	-
31	101	161	154	-	206	-
32	69	150	139	-	197	-
33	37	143	125	-	190	-
34	5	138	112	-	183	-
35	-27	136	101	-	177	-
36	-59	138	91	-	171	-
37	-91	142	82	-	165	-
38	-123	150	74	-	160	-
採用値						
相関係数	0.90249	0.90466	0.90318	-	0.85930	-
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^x$	$Y=Y_0+aX^b$	$Y=a\ln X+b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$
a=	-32.00	1.52	3,917.76	-	-86.02	-
b=	1,093.33	-106.38	0.90	-	403.66	-
c=	-	2,000.00	-	-	-	-
Y_0 =	-	-	-	372.00	-	-
K=	-	-	-	-	-	-
X=	t	t	t	0,1,2,...	1,2,3,...	t

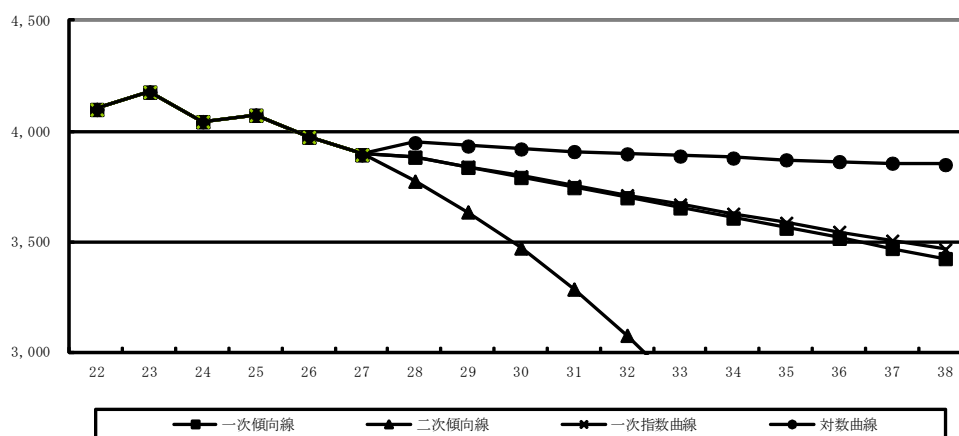


(ク) 集団回収（生活系）

過去6年間で増減を繰り返しながら緩やかな減少傾向を示しているため、相関係数が高く、かつ緩やかな減少傾向を示す一次傾向線を採用します。

単位:t/年

年度	実績					
22	4,099					
23	4,178					
24	4,044					
25	4,073					
26	3,974					
27	3,894					
回帰式	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	対数曲線	ロジスティック曲線
28	3,883	3,774	3,884	-	3,948	-
29	3,837	3,634	3,840	-	3,933	-
30	3,791	3,471	3,797	-	3,920	-
31	3,745	3,285	3,754	-	3,908	-
32	3,699	3,075	3,711	-	3,898	-
33	3,653	2,842	3,669	-	3,888	-
34	3,607	2,586	3,627	-	3,879	-
35	3,561	2,306	3,586	-	3,871	-
36	3,515	2,003	3,545	-	3,863	-
37	3,469	1,676	3,505	-	3,856	-
38	3,423	1,326	3,465	-	3,849	-
採用値	○					
相関係数	0.86628	0.92424	0.86356	-	0.74878	-
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^x$	$Y=Y_0+aX^b$	$Y=a\ln X+b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$
a=	-45.94	-11.70	5,347.32	-	-112.12	-
b=	5,169.27	527.18	0.99	-	4,166.61	-
c=	-	-1,817.40	-	-	-	-
Y_0 =	-	-	-	4,099.00	-	-
K=	-	-	-	-	-	-
X=	t	t	t	0,1,2,...	1,2,3,...	t

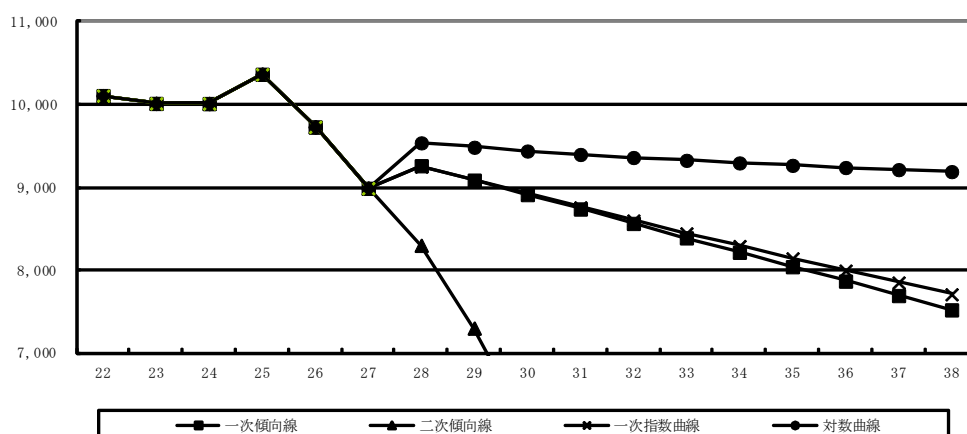


(ケ) 燃やすごみ（事業系）

平成 26 年 10 月より持込みごみの予約制を導入したことにより平成 25 年度以降減少傾向にあります。しかし、このまま減少傾向が維持されるとは考えにくいので、今後は平成 27 年度実績値で一定推移していくものとします。

単位:t/年

年度	実績					
22	10,110					
23	10,016					
24	10,015					
25	10,368					
26	9,732					
27	8,991					
回帰式	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	対数曲線	ロジスティック曲線
28	9,263	8,300	9,252	-	9,540	-
29	9,088	7,301	9,085	-	9,487	-
30	8,914	6,096	8,921	-	9,441	-
31	8,740	4,684	8,760	-	9,400	-
32	8,566	3,066	8,602	-	9,363	-
33	8,392	1,242	8,446	-	9,329	-
34	8,218	-788	8,294	-	9,297	-
35	8,044	-3,025	8,144	-	9,268	-
36	7,870	-5,468	7,997	-	9,241	-
37	7,696	-8,117	7,852	-	9,216	-
38	7,521	-10,972	7,710	-	9,192	-
採用値						
相関係数	0.68230	0.90218	0.67442	-	0.54328	-
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^x$	$Y=Y_0+aX^b$	$Y=a\ln X+b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$
a=	-174.11	-103.13	15,415.97	-	-391.42	-
b=	14,137.80	4,879.01	0.98	-	10,301.20	-
c=	-	-47,462.20	-	-	-	-
Y_0 =	-	-	-	10,110.00	-	-
K=	-	-	-	-	-	-
X=	t	t	t	0,1,2,...	1,2,3,...	t

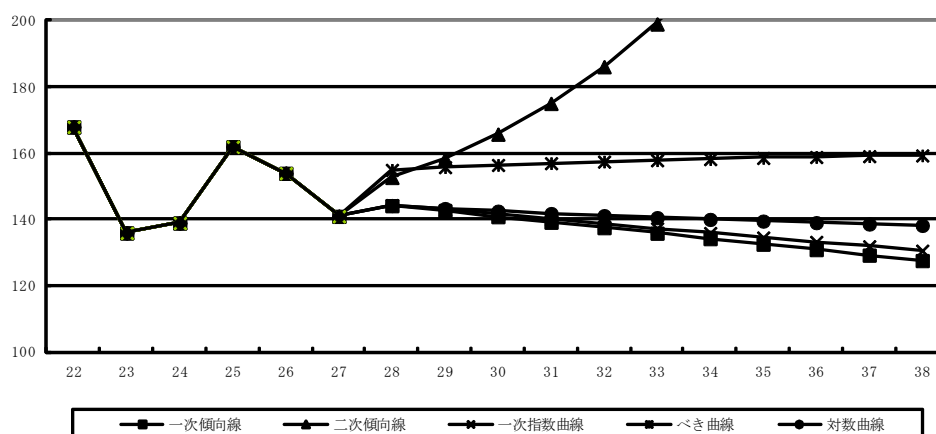


(1) 燃やさないごみ（事業系）

過去6年間で増減を繰り返しており一定の傾向が見られないため、今後は平成27年度実績値で一定推移していくものとします。

単位:t/年

年度	実績					
22	168					
23	136					
24	139					
25	162					
26	154					
27	141					
回帰式	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	対数曲線	ロジスティック曲線
28	144	153	144	155	144	-
29	143	158	143	156	143	-
30	141	166	142	156	143	-
31	139	175	140	157	142	-
32	138	186	139	158	141	-
33	136	199	137	158	141	-
34	134	214	136	158	140	-
35	133	230	135	159	140	-
36	131	249	133	159	139	-
37	129	269	132	159	139	-
38	128	291	131	159	138	-
採用値						
相関係数	0.23342	0.29932	0.23481	0.52902	0.33727	-
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^x$	$Y=Y_0+aX^b$	$Y=a\ln X+b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$
a=	-1.66	0.91	191.02	-27.45	-6.76	-
b=	190.60	-46.28	0.99	-0.42	157.41	-
c=	-	734.60	-	-	-	-
Y_0 =	-	-	-	168.00	-	-
K=	-	-	-	-	-	-
X=	t	t	t	0,1,2,...	1,2,3,...	t



ウ 採用式一覧

各項目の排出量を予測するにあたり採用した回帰式は以下のとおりです。

	ごみ種別	採用式
生活系	燃やすごみ	一次傾向線
	紙資源	一次傾向線
	ペットボトル	現況固定
	缶	現況固定
	ビン	平均値
	その他燃やさないごみ	対数曲線
	粗大ごみ	現況固定
	集団回収	一次傾向線
事業系	燃やすごみ	現況固定
	燃やさないごみ	現況固定

エ ごみ排出量予測結果

ごみ排出量予測結果は、以下のとおりです。

人口及び年間日数

項目\年度	実績						予測										
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
人口(人)	95,493	96,015	96,613	96,659	96,897	96,616	96,723	96,830	96,937	97,044	97,149	97,282	97,415	97,548	97,681	97,816	97,326
年間日数(日/年)	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365

ごみ排出量予測結果

単位:t/年

項目\年度	実績						予測										
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
生活系ごみ	26,739	26,978	26,691	26,858	26,403	26,274	26,194	26,099	26,020	25,967	25,793	25,681	25,607	25,558	25,389	25,284	25,073
燃やすごみ	19,211	19,340	19,229	19,486	19,281	19,177	19,152	19,121	19,089	19,109	19,024	18,993	18,966	18,990	18,911	18,883	18,735
燃やさないごみ	7,528	7,638	7,462	7,372	7,122	7,097	7,042	6,978	6,931	6,858	6,769	6,688	6,641	6,568	6,473	6,401	6,338
資源ごみ	2,358	2,406	2,410	2,379	2,281	2,296	2,270	2,255	2,257	2,231	2,192	2,160	2,162	2,136	2,096	2,064	2,054
紙資源	1,284	1,309	1,322	1,288	1,237	1,162	1,147	1,131	1,132	1,101	1,064	1,030	1,031	1,000	963	928	924
ペットボトル	149	139	144	144	141	177	177	177	177	178	177	178	178	179	178	179	178
缶	151	131	149	146	136	134	134	134	134	135	135	135	135	136	135	136	135
ビン	774	827	795	801	767	823	812	813	814	817	816	817	818	821	820	821	817
その他燃やさないごみ	699	669	661	656	636	650	632	629	626	625	621	618	615	614	610	611	604
粗大ごみ	372	385	347	264	231	257	257	257	257	257	257	257	257	257	257	257	257
集団回収	4,099	4,178	4,044	4,073	3,974	3,894	3,883	3,837	3,791	3,745	3,699	3,653	3,607	3,561	3,515	3,469	3,423
事業系ごみ	10,278	10,152	10,154	10,530	9,886	9,132	9,132	9,132	9,132	9,132	9,132	9,132	9,132	9,132	9,132	9,132	9,132
燃やすごみ	10,110	10,016	10,015	10,368	9,732	8,991	8,991	8,991	8,991	8,991	8,991	8,991	8,991	8,991	8,991	8,991	8,991
燃やさないごみ	168	136	139	162	154	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141
ごみ排出量	37,017	37,130	36,845	37,388	36,289	35,406	35,326	35,231	35,152	35,099	34,925	34,813	34,739	34,690	34,521	34,416	34,205

1人1日当たりのごみ排出量予測結果

単位:g/人・日

項目\年度	実績						予測										
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
生活系ごみ	767.2	767.6	756.8	761.2	746.6	743.1	742.0	738.5	735.4	731.0	727.3	723.2	720.1	715.8	712.1	708.2	705.8
燃やすごみ	551.2	550.3	545.3	552.3	545.2	542.3	542.5	541.0	539.5	538.0	536.5	534.9	533.4	531.9	530.4	528.9	527.4
燃やさないごみ	216.0	217.3	211.5	208.9	201.4	200.8	199.5	197.5	195.5	193.0	190.8	188.3	186.7	183.9	181.7	179.3	178.4
資源ごみ	67.6	68.4	68.3	67.4	64.5	65.0	64.3	63.8	63.8	62.8	61.8	60.8	60.8	59.8	58.8	57.8	57.8
紙資源	36.8	37.2	37.5	36.5	35.0	32.9	32.5	32.0	32.0	31.0	30.0	29.0	29.0	28.0	27.0	26.0	26.0
ペットボトル	4.3	4.0	4.1	4.1	4.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
缶	4.3	3.7	4.2	4.1	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8
ビン	22.2	23.5	22.5	22.7	21.7	23.3	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0
その他燃やさないごみ	20.1	19.0	18.7	18.6	18.0	18.4	17.9	17.8	17.7	17.6	17.5	17.4	17.3	17.2	17.1	17.1	17.0
粗大ごみ	10.7	11.0	9.8	7.5	6.5	7.3	7.3	7.3	7.3	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2
集団回収	117.6	118.9	114.7	115.4	112.4	110.1	110.0	108.6	107.1	105.4	104.3	102.9	101.4	99.7	98.6	97.2	96.4
事業系ごみ	294.9	288.9	287.9	298.5	279.6	258.3	258.7	258.4	258.1	257.1	257.6	257.2	256.9	255.7	256.2	255.7	257.1
燃やすごみ	290.1	285.0	284.0	293.9	275.2	254.3	254.7	254.4	254.1	253.1	253.6	253.2	252.9	251.8	252.2	251.8	253.1
燃やさないごみ	4.8	3.9	3.9	4.6	4.4	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	3.9	4.0
ごみ排出量	1,062.1	1,056.5	1,044.7	1,059.7	1,026.2	1,001.4	1,000.7	996.9	993.5	988.1	984.9	980.4	977.0	971.5	968.3	963.9	962.9

(3) ごみ処理量予測

ごみ処理量は平成27年度と同様の処理がなされると仮定して予測します。

ごみ処理量予測結果は、以下のとおりです。

焼却施設処理量予測

単位:t/年

項目\年度	実績						予測											備考
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	
搬入	31,016	30,976	30,844	31,124	30,161	29,347	29,304	29,272	29,238	29,259	29,170	29,139	29,110	29,135	29,052	29,026	28,872	(a): (b)+(c)
燃やすごみ	29,321	29,356	29,244	29,854	29,013	28,168	28,143	28,112	28,080	28,100	28,015	27,984	27,957	27,981	27,902	27,874	27,726	(b): 燃やすごみ排出量(生活系+事業系)
選別残渣	1,695	1,620	1,600	1,270	1,148	1,179	1,161	1,160	1,158	1,159	1,155	1,155	1,153	1,154	1,150	1,152	1,146	(c): (u)
搬出	5,374	5,233	5,500	5,759	5,228	5,194	5,186	5,181	5,175	5,178	5,163	5,157	5,152	5,156	5,142	5,137	5,110	(d): (e)
焼却灰・バグ灰	5,374	5,233	5,500	5,759	5,228	5,194	5,186	5,181	5,175	5,178	5,163	5,157	5,152	5,156	5,142	5,137	5,110	(e): (a)× 17.7%

資源化施設処理量予測

単位:t/年

項目\年度	実績						予測											備考
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	
搬入	3,597	3,596	3,557	3,461	3,302	3,344	3,300	3,282	3,281	3,254	3,211	3,176	3,175	3,148	3,104	3,073	3,056	(f): (g)+(l)+(m)
資源ごみ	2,358	2,406	2,410	2,379	2,281	2,296	2,270	2,255	2,257	2,231	2,192	2,160	2,162	2,136	2,096	2,064	2,054	(g): (h)+(i)+(j)+(k)
紙資源	1,284	1,309	1,322	1,288	1,237	1,162	1,147	1,131	1,132	1,101	1,064	1,030	1,031	1,000	963	928	924	(h): 紙資源排出量
ペットボトル	149	139	144	144	141	177	177	177	177	178	177	178	178	179	178	179	178	(i): ペットボトル排出量
缶	151	131	149	146	136	134	134	134	134	135	135	135	135	136	135	136	135	(j): 缶排出量
ビン	774	827	795	801	767	823	812	813	814	817	816	817	818	821	820	821	817	(k): ビン排出量
その他燃やさないごみ	867	805	800	818	790	791	773	770	767	766	762	759	756	755	751	752	745	(l): その他燃やさないごみ排出量(生活系+事業系)
粗大ごみ	372	385	347	264	231	257	257	257	257	257	257	257	257	257	257	257	257	(m): 粗大ごみ排出量
搬出	3,597	3,596	3,557	3,461	3,302	3,344	3,300	3,282	3,281	3,254	3,211	3,176	3,175	3,148	3,104	3,073	3,056	(n): (o)+(u)
資源化物	1,902	1,976	1,957	2,191	2,154	2,165	2,139	2,122	2,123	2,095	2,056	2,021	2,022	1,994	1,954	1,921	1,910	(o): (p)+(q)+(r)+(s)+(t)
紙資源	1,284	1,309	1,322	1,288	1,237	1,227	1,211	1,194	1,195	1,164	1,127	1,092	1,093	1,062	1,025	990	985	(p): (h)+(l)× 8.2%
ペットボトル	72	91	102	127	136	142	142	142	142	143	142	143	143	144	143	144	143	(q): (i)× 80.2%
缶	113	109	113	137	136	133	133	133	133	134	134	134	134	135	134	135	134	(r): (j)× 99.3%
ビン	377	411	272	365	395	392	387	387	388	389	389	389	390	391	391	391	389	(s): (k)× 47.6%
金属類	56	56	148	274	250	271	266	266	265	265	264	263	262	262	261	261	259	(t): ((l)+(m))× 25.9%
選別残渣	1,695	1,620	1,600	1,270	1,148	1,179	1,161	1,160	1,158	1,159	1,155	1,155	1,153	1,154	1,150	1,152	1,146	(u): (f)-(o)

リサイクル率

単位:t/年

項目\年度	実績						予測										
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
処理量	32,918	32,952	32,801	33,315	32,315	31,512	31,443	31,394	31,361	31,354	31,226	31,160	31,132	31,129	31,006	30,947	30,782
資源化量	6,001	6,154	6,001	6,264	6,128	6,059	6,022	5,959	5,914	5,840	5,755	5,674	5,629	5,555	5,469	5,390	5,333
資源化物	1,902	1,976	1,957	2,191	2,154	2,165	2,139	2,122	2,123	2,095	2,056	2,021	2,022	1,994	1,954	1,921	1,910
集団回収	4,099	4,178	4,044	4,073	3,974	3,894	3,883	3,837	3,791	3,745	3,699	3,653	3,607	3,561	3,515	3,469	3,423
リサイクル率(%)	16.2%	16.6%	16.3%	16.8%	16.9%	17.1%	17.0%	16.9%	16.8%	16.6%	16.5%	16.3%	16.2%	16.0%	15.8%	15.7%	15.6%

※ リサイクル率(%)=資源化量/(処理量+集団回収)×100

最終処分量予測

単位:t/年

項目\年度	実績						予測										
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
最終処分量	5,374	5,233	5,500	5,759	5,228	5,194	5,186	5,181	5,175	5,178	5,163	5,157	5,152	5,156	5,142	5,137	5,110

資料③ 目標値の設定

1 目標値の設定

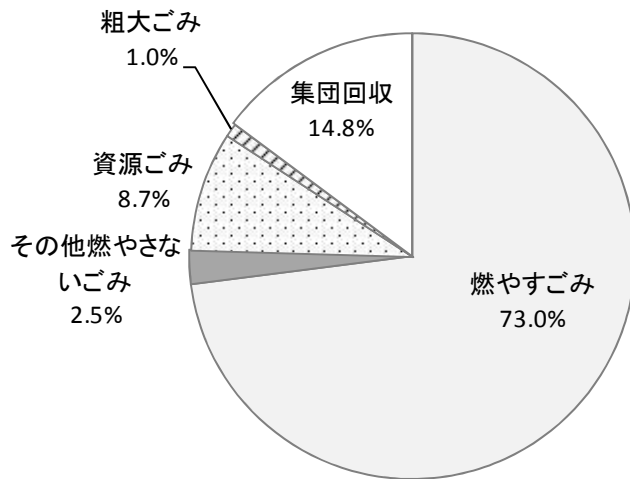
(1) 目標値設定の考え方

目標値を設定する上での各ごみ種別の考えは、以下のとおりです。

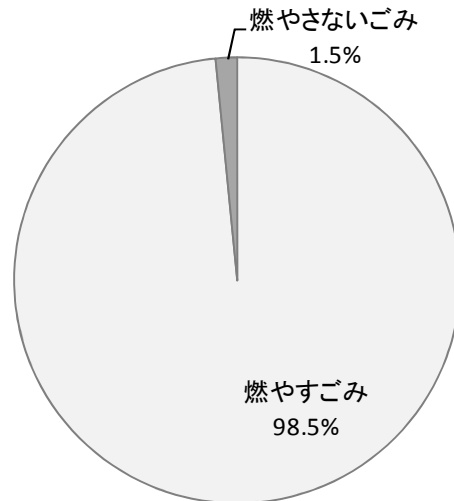
目標値設定の考え方

項 目		目標値設定の考え方		
生活系ごみ	燃やすごみ	生活系ごみの大部分を占めるため、方策の推進による減量及び資源化効果が期待できます。		
	燃やさないごみ	資源ごみ	紙資源	燃やすごみ等に混入している「紙製容器包装」は、約 8.3%（平成 27 年度実績で約 2,500t）であり、方策の推進による資源化効果が期待できます。
			ペットボトル	燃やすごみ等に混入している「ペットボトル」は、約 1.5%であり、方策の推進による資源化効果がある程度期待できます。 一方で、「マイ食器、マイボトルの利用」の推進によるペットボトルの減量効果も想定できるため、先述した資源化効果と相殺することを想定し予測値で据え置きます。
			缶	燃やすごみ等に混入している「缶」は約 0.4%と低く、方策による資源化効果は小さいと想定し予測値で据え置きます。
			ビン	燃やすごみ等に混入している「ビン」は約 0.4%と低く、方策による資源化効果は小さいと想定し予測値で据え置きます。
	その他燃やさないごみ		当該排出量の割合は、生活系ごみの約 2.5%と低く、方策の減量及び資源化効果が小さいと想定し予測値で据え置きます。	
	粗大ごみ		臨時で発生するごみであり、方策による直接的な効果は無いため、予測値で据え置きます。	
	集団回収		紙資源のとおり	
事業系ごみ	燃やすごみ	当該排出量は、事業系ごみの大部分を占め、持ち込みごみ予約制の減量効果を考慮すると方策による減量効果が期待できます。		
	燃やさないごみ	当該排出量の割合は、事業系ごみの約 1.5%と低く、方策等の減量効果が小さいと想定し予測値で据え置きます。		

生活系ごみ種別割合（平成 27 年度実績）



事業系ごみ種別割合（平成 27 年度実績）



焼却処理量における容器包装廃棄物混入割合

単位：%

項目	年月日	年月日			
		H25	H26	H27	平均
金属	スチール製容器	0.15	0.22	0.29	0.22
	アルミ製容器	0.21	0.39	0.08	0.23
	計	0.36	0.61	0.37	0.44
ガラス	無色のガラス製容器	0.29	0.00	0.11	0.13
	茶色のガラス製容器	0.42	0.23	0.00	0.22
	その他の色のガラス製容器	0.00	0.00	0.25	0.08
	計	0.71	0.23	0.35	0.43
紙類	飲料用紙製容器	0.34	1.26	0.52	0.70
	段ボール	4.99	6.18	4.13	5.10
	その他の紙製容器包装	2.34	1.23	3.86	2.48
	計	7.67	8.67	8.50	8.28
プラスチック	ペットボトル	0.96	2.44	1.07	1.49
	白色トレイ	0.23	0.33	0.19	0.25
	その他のプラスチック容器包装	4.86	3.48	11.26	6.53
	計	6.06	6.25	12.52	8.27
容器包装以外		85.22	84.26	78.26	82.58
合計		100.00	100.00	100.00	100.00

(2) ごみ排出量目標値設定

ア 目標値の設定

本計画の目標値の設定については、目標年度である平成 38 年度の予測値に対し、以下の減量及び資源化効果を想定して設定します。

① 紙資源：1,000 t 増加（生活系燃やすごみから分別回収）

内訳 700 t は集団回収として回収

300 t は行政収集として回収

想定事項：12 分別の徹底を推進することで、焼却処理されている紙資源 1,000 t を資源ごみとして分別回収します。なお、収集形態毎の内訳は、集団回収の推進の効果を見込み、700 t を集団回収で、残り 300 t を行政収集（車両収集）で回収するものとします。

② 生活系燃やすごみ：10%削減

想定事項：「マイ食器、マイボトルの利用」や「生ごみの水切り」等による方策の効果により、生活系燃やすごみが 10%削減するものとします。

③ 事業系ごみ：15%削減（ただし、全量燃やすごみの減量とします。）

想定事項：「事業系ごみハンドブックの発行」や「ごみの展開検査の実施」等による方策の効果により、事業系ごみが 15%削減するものとします。

④ ビン選別残渣：50%減（資源化対象範囲の拡大）

想定事項：ビンの資源化対象範囲の拡大により、資源化施設において、処理後、選別残渣として焼却処理されていたビン選別残渣のうち、50%を追加で資源化するものとします。

以上のことから、平成 38 年度における予測値及び目標値は次に示すとおりです。

ごみ排出量

項目\年度	H38(予測値)		H38(目標値)		
		原単位		原単位	
生活系ごみ	25,073	705.8	23,299	655.9	
燃やすごみ	18,735	527.4	15,961	449.3	
燃やさないごみ	資源ごみ	2,054	2,354	66.3	
	紙資源	924	26.0	1,224	34.5
	ペットボトル	178	5.0	178	5.0
	缶	135	3.8	135	3.8
	ビン	817	23.0	817	23.0
その他燃やさないごみ	604	17.0	604	17.0	
粗大ごみ	257	7.2	257	7.2	
集団回収	3,423	96.4	4,123	116.1	
事業系ごみ	9,132	257.1	7,762	218.5	
燃やすごみ	8,991	253.1	7,621	214.5	
燃やさないごみ	141	4.0	141	4.0	
ごみ排出量	34,205	962.9	31,061	874.4	

※ 原単位は1人1日当たりの排出量を示す。

焼却施設処理量

項目\年度	H38 (予測値)	H38 (目標値)
搬入	28,872	24,514
燃やすごみ	27,726	23,582
選別残渣	1,146	932
搬出	5,110	4,339
焼却灰・バグ灰	5,110	4,339

資源化施設処理量

項目\年度	H38 (予測値)	H38 (目標値)
搬入	3,056	3,356
資源ごみ	2,054	2,354
紙資源	924	1,224
ペットボトル	178	178
缶	135	135
ビン	817	817
その他燃やさないごみ	745	745
粗大ごみ	257	257
搬出	3,056	3,356
資源化物	1,910	2,424
紙資源	985	1,285
ペットボトル	143	143
缶	134	134
ビン	389	603
金属類	259	259
選別残渣	1,146	932

リサイクル率

項目\年度	H38 (予測値)	H38 (目標値)
処理量	30,782	26,938
資源化量	5,333	6,547
資源化物	1,910	2,424
集団回収	3,423	4,123
リサイクル率(%)	15.6%	21.1%

最終処分量

項目\年度	H38 (予測値)	H38 (目標値)
最終処分量	5,110	4,339

(3) ごみ排出量目標値設定結果

平成 32 年度（中間目標年度）を含む、各年度のごみ排出量目標値は、平成 38 年度目標値を基に推計して算出します。

人口及び年間日数

項目\年度	実績						予測										
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
人口(人)	95,493	96,015	96,613	96,659	96,897	96,616	96,723	96,830	96,937	97,044	97,149	97,282	97,415	97,548	97,681	97,816	97,326
年間日数(日/年)	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365

ごみ排出量目標値

単位:t/年

項目\年度	実績						目標										
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
生活系ごみ	26,739	26,978	26,691	26,858	26,403	26,274	26,194	25,905	25,616	25,333	25,040	24,752	24,463	24,180	23,886	23,603	23,299
燃やすごみ	19,211	19,340	19,229	19,486	19,281	19,177	19,152	18,833	18,514	18,195	17,876	17,557	17,238	16,919	16,600	16,281	15,961
燃やさないごみ	7,528	7,638	7,462	7,372	7,122	7,100	7,042	7,072	7,102	7,138	7,164	7,195	7,225	7,261	7,286	7,322	7,338
資源ごみ	2,358	2,406	2,410	2,379	2,281	2,296	2,270	2,279	2,288	2,301	2,307	2,317	2,326	2,339	2,344	2,355	2,354
紙資源	1,284	1,309	1,322	1,288	1,237	1,162	1,147	1,155	1,163	1,171	1,179	1,187	1,195	1,203	1,211	1,219	1,224
ペットボトル	149	139	144	144	141	177	177	177	177	178	177	178	178	179	178	179	178
缶	151	131	149	146	136	134	134	134	134	135	135	135	135	136	135	136	135
ビン	774	827	795	801	767	823	812	813	814	817	816	817	818	821	820	821	817
その他燃やさないごみ	699	669	661	656	636	650	632	629	626	625	621	618	615	614	610	611	604
粗大ごみ	372	385	347	264	231	257	257	257	257	257	257	257	257	257	257	257	257
集団回収	4,099	4,178	4,044	4,073	3,974	3,894	3,883	3,907	3,931	3,955	3,979	4,003	4,027	4,051	4,075	4,099	4,123
事業系ごみ	10,278	10,152	10,154	10,530	9,886	9,132	9,132	8,995	8,858	8,721	8,584	8,447	8,310	8,173	8,036	7,899	7,762
燃やすごみ	10,110	10,016	10,015	10,368	9,732	8,991	8,991	8,854	8,717	8,580	8,443	8,306	8,169	8,032	7,895	7,758	7,621
燃やさないごみ	168	136	139	162	154	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141
ごみ排出量	37,017	37,130	36,845	37,388	36,289	35,406	35,326	34,900	34,474	34,054	33,624	33,199	32,773	32,353	31,922	31,502	31,061

1人1日当たりのごみ排出量目標値

単位:g/人・日

項目\年度	実績						目標										
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
生活系ごみ	767.2	767.6	756.8	761.2	746.6	743.1	742.0	733.0	724.1	713.3	706.0	697.0	688.0	677.3	670.0	661.0	655.9
燃やすごみ	551.2	550.3	545.3	552.3	545.2	542.3	542.5	532.9	523.3	512.3	504.1	494.5	484.8	473.9	465.6	456.0	449.3
燃やさないごみ	216.0	217.3	211.5	208.9	201.4	200.8	199.5	200.1	200.8	201.0	201.9	202.5	203.2	203.4	204.4	205.0	206.6
資源ごみ	67.6	68.4	68.3	67.4	64.5	65.0	64.3	64.5	64.7	64.8	65.0	65.2	65.4	65.5	65.8	65.9	66.3
紙資源	36.8	37.2	37.5	36.5	35.0	32.9	32.5	32.7	32.9	33.0	33.2	33.4	33.6	33.7	34.0	34.1	34.5
ペットボトル	4.3	4.0	4.1	4.1	4.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
缶	4.3	3.7	4.2	4.1	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8
ビン	22.2	23.5	22.5	22.7	21.7	23.3	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0
その他燃やさないごみ	20.1	19.0	18.7	18.6	18.0	18.4	17.9	17.8	17.7	17.6	17.5	17.4	17.3	17.2	17.1	17.1	17.0
粗大ごみ	10.7	11.0	9.8	7.5	6.5	7.3	7.3	7.3	7.3	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2
集団回収	117.6	118.9	114.7	115.4	112.4	110.1	110.0	110.5	111.1	111.4	112.2	112.7	113.3	113.5	114.3	114.8	116.1
事業系ごみ	294.9	288.9	287.9	298.5	279.6	258.3	258.7	254.5	250.4	245.6	242.1	237.9	233.7	228.9	225.4	221.2	218.5
燃やすごみ	290.1	285.0	284.0	293.9	275.2	254.3	254.7	250.5	246.4	241.6	238.1	233.9	229.7	225.0	221.4	217.3	214.5
燃やさないごみ	4.8	3.9	3.9	4.6	4.4	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	3.9	4.0
ごみ排出量	1,062.1	1,056.5	1,044.7	1,059.7	1,026.2	1,001.4	1,000.7	987.5	974.5	958.9	948.1	934.9	921.7	906.2	895.4	882.2	874.4

(4) ごみ処理量目標値設定

ごみ処理量は平成27年度と同様の処理がなされると仮定して予測します。

なお、ビンの再資源化の未、資源化対象範囲の拡大により、これまで選別残渣として処理していたうちの50%を再資源化することとします。

焼却施設処理量予測

単位:t/年

項目\年度	実績							予測											備考
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38		
搬入	31,016	30,976	30,844	31,124	30,161	29,347	29,304	28,634	28,176	27,720	27,261	26,804	26,346	25,890	25,431	24,976	24,514	(a): (b)+(c)	
燃やすごみ	29,321	29,356	29,244	29,854	29,013	28,168	28,143	27,687	27,231	26,775	26,319	25,863	25,407	24,951	24,495	24,039	23,582	(b): 燃やすごみ排出量(生活系+事業系)	
選別残渣	1,695	1,620	1,600	1,270	1,148	1,179	1,161	947	945	945	942	941	939	939	936	937	932	(c): (u)	
搬出	5,374	5,233	5,500	5,759	5,228	5,194	5,186	5,068	4,987	4,906	4,825	4,744	4,663	4,582	4,501	4,420	4,339	(d): (e)	
焼却灰・バグ灰	5,374	5,233	5,500	5,759	5,228	5,194	5,186	5,068	4,987	4,906	4,825	4,744	4,663	4,582	4,501	4,420	4,339	(e): (a) × 17.7%	

資源化施設処理量予測

単位:t/年

項目\年度	実績							予測											備考
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38		
搬入	3,597	3,596	3,557	3,461	3,302	3,344	3,300	3,306	3,312	3,324	3,326	3,333	3,339	3,351	3,352	3,364	3,356	(f): (g)+(l)+(m)	
資源ごみ	2,358	2,406	2,410	2,379	2,281	2,296	2,270	2,279	2,288	2,301	2,307	2,317	2,326	2,339	2,344	2,355	2,354	(g): (h)+(i)+(j)+(k)	
紙資源	1,284	1,309	1,322	1,288	1,237	1,162	1,147	1,155	1,163	1,171	1,179	1,187	1,195	1,203	1,211	1,219	1,224	(h): 紙資源排出量	
ペットボトル	149	139	144	144	141	177	177	177	177	178	177	178	178	179	178	179	178	(i): ペットボトル排出量	
缶	151	131	149	146	136	134	134	134	134	135	135	135	135	136	135	136	135	(j): 缶排出量	
ビン	774	827	795	801	767	823	812	813	814	817	816	817	818	821	820	821	817	(k): ビン排出量	
その他燃やさないごみ	867	805	800	818	790	791	773	770	767	766	762	759	756	755	751	752	745	(l): その他燃やさないごみ排出量(生活系+事業系)	
粗大ごみ	372	385	347	264	231	257	257	257	257	257	257	257	257	257	257	257	257	(m): 粗大ごみ排出量	
搬出	3,597	3,596	3,557	3,461	3,302	3,344	3,300	3,306	3,312	3,324	3,326	3,333	3,339	3,351	3,352	3,364	3,356	(n): (o)+(u)	
資源化物	1,902	1,976	1,957	2,191	2,154	2,165	2,139	2,359	2,367	2,379	2,385	2,392	2,400	2,412	2,417	2,427	2,424	(o): (p)+(q)+(r)+(s)+(t)	
紙資源	1,284	1,309	1,322	1,288	1,237	1,227	1,211	1,218	1,226	1,234	1,242	1,249	1,257	1,265	1,273	1,281	1,285	(p): (h)+(l) × 8.2%	
ペットボトル	72	91	102	127	136	142	142	142	142	143	142	143	143	144	143	144	143	(q): (i) × 80.2%	
缶	113	109	113	137	136	133	133	133	133	134	134	134	134	135	134	135	134	(r): (j) × 99.3%	
ビン	377	411	272	365	395	392	387	600	601	603	602.5	603	604	606	605.5	606	603	(s): (k) × 47.6% + ビン選別残渣の 50%	
金属類	56	56	148	274	250	271	266	266	265	265	264	263	262	262	261	261	259	(t): ((l)+(m)) × 25.9%	
選別残渣	1,695	1,620	1,600	1,270	1,148	1,179	1,161	947	945	945	942	941	939	939	936	937	932	(u): (f)-(o)	

リサイクル率

単位:t/年

項目\年度	実績							予測										
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	
処理量	32,918	32,952	32,801	33,315	32,315	31,512	31,443	30,993	30,543	30,099	29,645	29,196	28,746	28,302	27,847	27,403	26,938	
資源化量	6,001	6,154	6,001	6,264	6,128	6,059	6,022	6,266	6,298	6,334	6,364	6,395	6,427	6,463	6,492	6,526	6,547	
資源化物	1,902	1,976	1,957	2,191	2,154	2,165	2,139	2,359	2,367	2,379	2,385	2,392	2,400	2,412	2,417	2,427	2,424	
集団回収	4,099	4,178	4,044	4,073	3,974	3,894	3,883	3,907	3,931	3,955	3,979	4,003	4,027	4,051	4,075	4,099	4,123	
リサイクル率(%)	16.2%	16.6%	16.3%	16.8%	16.9%	17.1%	17.0%	18.0%	18.3%	18.6%	18.9%	19.3%	19.6%	20.0%	20.3%	20.7%	21.1%	

※ リサイクル率(%) = 資源化量 / (処理量 + 集団回収) × 100

最終処分量予測

単位:t/年

項目\年度	実績							予測										
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	
最終処分量	5,374	5,233	5,500	5,759	5,228	5,194	5,186	5,068	4,987	4,906	4,825	4,744	4,663	4,582	4,501	4,420	4,339	

(5) 上位計画における目標値との比較

国や県の関連計画等における一般廃棄物に関する目標値は、以下のとおりです。

関連計画等における目標値

項目		循環型社会形成推進 基本計画	廃棄物処理基本方針	兵庫県廃棄物処理計画
策定年度		平成25年5月	平成28年1月	平成25年3月
基準年度		平成12年度	平成24年度	平成19年度
目標年度		平成32年度	平成32年度	平成32年度
目標値	ごみ排出量		約12%減	17%減
	1人1日当たりのごみ排出量	約25%減		
	1人1日当たりのごみ排出量 (集団回収除く)			835g/人・日
	1人1日当たりの家庭系ごみ排出量	約25%減	約500g/人・日	
	事業系ごみ排出量	約35%減		
	家庭系焼却処理量			
	事業系焼却処理量			
	リサイクル率		約27%	25%
	最終処分量		約14%減	30%減

本計画における目標値と国や県が定める目標値の比較結果は、以下のとおりです。

本計画と関連計画等における目標値比較結果

項 目		H12 (基準年度値)	H32 (達成すべき値)	H32 (本計画目標値)	達成状況 (見込み)
循環型社会形成 推進基本計画	1人1日当たりのごみ排出量	1,273g/人・日	約25%減 (955.0g/人・日)	25.5%減 (948.1g/人・日)	達成
	1人1日当たりの家庭系ごみ排出量	788g/人・日	約25%減 (591.2g/人・日)	32.9%減 (528.8g/人・日)	達成
	事業系ごみ排出量	10,105t/年	約35%減 (6,568t/年)	15.1%減 (8,584t/年)	未達成
廃棄物処理 基本方針	ごみ排出量	36,845t/年	約12%減 (32,424t/年)	8.7%減 (33,624t/年)	未達成
	1人1日当たりの家庭系ごみ排出量	574g/人・日	約500g/人・日	529g/人・日	未達成
	リサイクル率	16.3%	約27%	18.9%	未達成
	最終処分量	5,500t/年	約14%減 (4,730t/年)	12.3%減 (4,825t/年)	未達成
廃棄物処理 兵庫県計画	ごみ排出量	38,683t/年	17%減 (32,107t/年)	13.1%減 (33,624t/年)	未達成
	1人1日当たりのごみ排出量 (集団回収除く)	1,011g/人・日	835g/人・日	836g/人・日	未達成
	リサイクル率	18.4%	25%	18.9%	未達成
	最終処分量	5,901t/年	30%減 (4,131t/年)	18.2%減 (4,825t/年)	未達成

参 考

● 分別のポイント：雑がみとは…

(9 ページ関連)

「雑がみ」は貴重な「資源」です！

「雑がみ」とは、家庭から排出される紙類のうち、新聞、雑誌、チラシ、段ボール、飲料用紙パックのいずれの区分にも入らないリサイクルできる紙全般のことです。毎日家庭から出るごみの中で、一番多いのが「燃やすごみ」。この燃やすごみのうち、約30～40%が紙類で、特に雑がみの多くが燃やすごみとして排出されている実態があります。

【雑がみの例】⇒「雑誌・チラシ等」として排出

- ・ティッシュの箱
- ・お菓子、食品、飲料缶の紙箱類
- ・ラップ等の芯や箱
- ・手さげ紙袋
- ・包装紙（のし紙等）
- ・封筒、はがき
- ・ダイレクトメール
- ・事務用紙、メモ用紙
- ・学校からのプリント類
- ・シュレッダー紙 等

【資源にならない紙類（禁忌品(きんきひん)）の例】⇒「燃やすごみ」として排出

- ・感熱紙（レシート、ファックス用紙等）
- ・圧着はがき
- ・カーボン紙（配送伝票等）
- ・コーティングされているもの（ビニール、アルミ、ワックス、金、銀等）
- ・写真
- ・においの付いた紙（洗剤、石鹸の箱等）
- ・汚れ、油の付いた紙（宅配ピザの箱等）
- ・粘着物の付いた紙（ラベル、ステッカー等）
- ・紙おむつ
- ・ティッシュペーパー 等

★ワンポイント

手で簡単に破れる紙は「雑がみ」として分別し、破れない紙は「燃やすごみ」として排出してください。また、識別マークがあるものは分別してください。



【雑がみの出し方】

- プラスチック（⇒「燃やすごみ」）や金属（⇒「その他燃やさないごみ」）は取り除いてください。
- 大きな雑がみの場合は、紙ひもで十字にしばってお出してください。
小さな雑がみの場合は、紙袋にまとめて入れてお出してください。



ごみの減量と資源の有効利用のため、「雑がみ」の回収にご協力ください！

● 排出のポイント：ペットボトルの出し方

(8 ページ関連)

- ① 中身を出し、水洗いしてから出してください。
- ② ふたは外し、ラベルははがしてください。
- ③ ふたやラベルの素材が、金属の場合は「その他燃やさないごみ」として、紙やプラスチックの場合は「燃やすごみ」として分別してください。



製品を購入する時は「環境ラベル」を参考にしよう！

「環境ラベル」とは、製品やサービスの環境情報を製品や包装紙等に表記することで、購入者が環境負荷の少ない製品を選ぶ際の手助けとなっているものです。

「環境ラベル」には、いろいろな種類があり、その一例を紹介します。

【環境ラベル例】

<p>エコマーク</p>  <p>類似製品と比較して製品の製造、使用、廃棄をとおして環境負荷の低減を図っている製品を示します。</p>	<p>グリーンマーク</p>  <p>原料に規定以上の古紙を利用している製品を示します。</p>	<p>PETボトルリサイクル推奨マーク</p>  <p>使用済ペットボトルのリサイクル品を使用した製品を示します。</p>
<p>牛乳パック再利用マーク</p>  <p>原料に使用済牛乳パックを使用した製品を示します。</p>	<p>再生紙使用マーク</p>  <p>古紙パルプの配合率が、70%の再生紙を示します。 本計画書もこの再生紙を利用しています。</p>	<p>PCグリーンラベル</p>  <p>パソコンの設計、製造からリユース・リサイクルまで、環境に対して包括的に取り組んでいる製品を示します。</p>

ごみを分別する時は「識別マーク」を参考にしよう！

「識別マーク」とは、製品等にリサイクルの「識別マーク」を表記することで、消費者がごみの分別をする際の手助けとなっているものです。

「識別マーク」には、いろいろな種類があり、その一例を紹介します。

【識別マーク例】

紙資源			ペットボトル	缶		リターナブル ビン
紙製容器包装	段ボール	紙パック		アルミ缶	スチール缶	
						

● ごみの分別の必要性

分別すれば「資源」、そのまま捨てれば「ごみ」

私たちの周りには、たくさんの「もの」が溢れています。すべて限りある資源から出来ています。

「ごみ」としてそのまま捨てるのではなく、少し立ち止まって考え分別すれば、使えるものは「再使用（リユース）」したり、他の製品の原材料として「再生利用（リサイクル）」したり、有効に利用することで資源の無駄づかいを無くすことが出来ます。もし分別しなければ、「ごみ」として焼却処理され、非効率な燃焼による二酸化炭素（CO₂）の排出量の増加はもとより、有害な物質が発生する恐れもあります。

そして、焼却後の「ごみ（焼却灰等）」は、最終的には海か山（埋立処分場）に埋め立てる（最終処分）以外に処分する方法はありません。埋立処分場はどうしても必要となりますが、周辺的生活環境等の問題もあり、新たに埋立処分場を用意することは困難です。現在ある埋立処分場が少しでも長く使用できるように、「ごみの減量化」に取り組むのと同時に、「ごみの分別」を徹底することが大切です。

「ごみの分別」による有効利用は、ごみを減らすだけでなく、省資源・省エネルギーに役立ち、私たちの生活環境と自然を守ることにつながります。

一人ひとりが、「もったいない」の気持ちでごみを増やさず、出たごみも「分別」を徹底することで、「ごみ」が「資源」に変わります！

● 家庭でできるごみ減量化のための工夫・取組事例

(61～62ページ関連)

毎年1人1日当たり9.45gずつ、ごみを減らしましょう。

1年目（平成29年度）は、1人1日当たり9.45g減らします。

2年目（平成30年度）は、1人1日当たり18.9g減らします。

.....

9年目（平成37年度）は、1人1日当たり85.05g減らします。

10年目（平成38年度）は、1人1日当たり94.5g減らします。

1. 生ごみの水切りを徹底する。(1回当たり10～40g) (79ページ 方策⑥参照)

家庭ごみの主役である生ごみ(ちゅう芥類)の約70～80%は水分と言われており、水切りを徹底することは、ごみの減量化に有効です。

(例)・よくしぼって、水を切る。

・生ごみの一部(卵の殻、茶葉、コーヒー豆の出がらし等)をそのままガーデニングの堆肥として使う。

・生ごみ堆肥化容器(段ボールコンポスト等)を活用する。 等

2. 手つかずの食品を減らす。(ごはん1膳150~200g)(77ページ 方策⑦参照)
家庭から出る生ごみの中には、手つかずの食品が約10~20%あるとされており、

食べ残しも約40%あるとされています。食品ロス^(注)を無くすことはとても大切です。

※ 食品ロス：まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のこと。

(例)

① 食材を使い切る。

- ・大根などの根菜の皮をきんぴらにする。
- ・3枚におろした鱈(アジ)の中骨を焼いて骨せんべいにする。
- ・野菜の皮や葉などを、干したり炒めたりする。
- ・買い置き野菜(特に葉物)を一度に茹で、二度くらいに分けて味付けを変えて使い切る。
- ・野菜は無農薬、低農薬のものにし、捨てる部分を少なくする。 等

② 食材を食べ切る。

- ・食材を購入する際は、冷蔵庫や食品庫の中身を把握しておき、食べきれ(必要なものだけ)量だけ買うことを意識する。
- ・予定外のもの、余計なものは買わない。
- ・料理の残りは捨てずに、食材として別の料理に活用する。
- ・値段が安いからといって、買い過ぎない。 等

③ 「消費期限」と「賞味期限」の違いを理解する。

全ての加工食品には、「消費期限」又は「賞味期限」のどちらかの期限表示がありますが、その違いを理解することで食品ロスを無くせます。

「消費期限」…品質の劣化が早い食品に表示され、定められた方法により保存した場合において、腐ったり変質したりする心配がない安全な期限を示す年月日をいいます。

⇒期限を過ぎたら食べない方がよいです。

「賞味期限」…長期間保存ができる食品に表示され、開封前で定められた方法により保存した場合、その品質が保たれ美味しく食べられる期限を示す年月日をいいます。

⇒この期限を過ぎても、食べられないということではありません。

3. マイバッグを持参し、レジ袋を断る。(レジ袋1枚4~10g)

(75ページ 方策①参照)

現在、日本国内では年間約305億枚、1人当たりに換算すると約240枚ものレジ袋を消費していると言われています。レジ袋1枚を作るのに石油が18.3ミリリットル必要とされ、日本国内では年間55.8万キロリットルの石油が必要となります。これは、25mプールに換算すると、1550個分に相当します。また、レジ袋1枚当たりの製造・焼却に伴う二酸化炭素(CO₂)の排出量は約60gとなり、日本国内では年間183万トンとなります。これは、ほぼ兵庫県の面積にあたるスギ林が1年間で吸収するCO₂の量に相当します。

レジ袋を削減することは、ごみの減量、天然資源(石油)投入量の削減、地球温暖化

の原因となる二酸化炭素（CO₂）の排出量の削減につながります。

4. 詰め替え用の商品を選ぶ。（シャンプー容器60～80g）（79ページ 方策④参照）
（例）石鹸，シャンプー，洗剤，調味料等の日常雑貨は詰め替え用のものを買う。
5. 使い捨て製品の利用をやめる。（割り箸5g，ペットボトル（500ml）25g）
（73ページ 方策①参照）
（例）外出時やアウトドア等では，マイ食器（マイ箸等）・マイボトルを持参する。
6. 簡易包装を心がける。（紙包装1枚20～40g）（78ページ 方策①参照）
（例）できるだけ簡易包装の商品（中袋や敷居の入っていないもの）を選ぶ。
7. ゴうきん（古着等を使用）を使って，ティッシュの使用量を抑える。
（78ページ 方策②参照）
8. 捨てる前に，できるだけ他に用途がないかどうかよく考える。（78ページ 方策②参照）
9. 洋服，雑貨など不要となったものは再使用（リユース）することを心がける。
（78ページ 方策③参照）
自分自身にとっては不要となるものでも，他の人にとって必要となるものはたくさんあります。
3Rのうち，「リユース（再使用）」が「リサイクル（再生利用）」に優先するのは，リサイクルでは，再資源化するためにエネルギーや資源を使い，それに伴って二酸化炭素（CO₂）等の排出物が生じるのに対し，リユースはまだ使える不用品を元のままで再使用するため，エネルギーの消費や排出物を抑えることができる，環境にやさしい取組といえるからです。
（例）フリーマーケット，リユース（リサイクル）ショップ，バザー，交換会，事業者のリサイクル回収や下取りキャンペーン，寄附，リメイク，ネット買取り，友人等への提供，ネットオークション 等
10. 迷うもの，無駄なもの，不要なものは，家に持ち込まない。
11. 短期間や1～2回しか使わないようなものは買わず，借りたり，他のもので代用できないか等工夫する。
12. スーパーマーケット等の資源（食品トレイ，卵パック，牛乳パック等）回収ボックスを利用する。（75ページ 方策③参照）
13. 広告の裏をメモ用紙として使う。 等

事例を挙げれば切りがありませんが，わたしたち一人ひとりが，身近なごみを意識することで，ごみは減らせます！

● 事業者ができるごみ減量化のための工夫・取組事例

(63～64ページ関連)

毎年、市内全事業者で137t(トン)ずつ、ごみを減らしていきましょう。

1年目(平成29年度)は、137t減らします。

2年目(平成30年度)は、274t減らします。

.....

9年目(平成37年度)は、1233t減らします。

10年目(平成38年度)は、1370t減らします。

事業系ごみ(ここでは、事業系一般廃棄物のこと)とは、事業活動に伴って排出されるごみ(一般廃棄物)のことですが、事業活動には、小売業、飲食店、オフィス・事務所、製造業等営利を目的とするものばかりでなく、病院、学校、社会福祉施設、文化施設等の公共サービスを行う事業も含まれます。

事業所から出たごみは、事業者自ら処理するか、又は、市の許可を受けている一般廃棄物処理許可業者に委託するかのどちらかにより処理することになります。

家庭ごみステーションに捨てることはできません！！

以下において、業種別に事業者ができるごみ減量化のための取組事例を示します。

(73ページ 方策①, 75ページ 方策①③, 76ページ 方策④, 77ページ 方策⑦,

78ページ 方策①②, 79ページ 方策④⑥, 80ページ 方策⑦⑧, 81ページ 方策⑫参照)

【小売業】

1. ばら売り、量り売り等、消費者が必要な数・量を購入できる仕組みをつくる。
2. 過剰包装を控え、簡易包装を推進する。
3. マイバッグ持参時のポイントの付与等、レジ袋の削減に取り組む。
4. 賞味期限切れ食品等の廃棄を削減するため、フードバンクを活用する。
5. 食料品の加工くずや売れ残り品などは水切りをして処分する。
6. メーカーや卸売業者等の生産・流通業者に対し、梱包材や包装材の簡素化や回収を依頼する。
7. リユース商品を積極的に販売・回収する。
8. 詰め替え商品等長期間繰り返し使用できる商品を積極的に販売する。
9. 資源ごみの店頭回収の実施 等

【飲食店】

1. 割り箸、ペーパータオル、紙コップ等の使い捨て用品の使用を控える。(リユース食器を利用する。)

2. 生ごみは水切りする。
3. 無駄な生ごみを出さないよう、調理方法を工夫する。
4. 食品ロスを無くすよう販売管理を徹底する。(フードバンクを活用する。)
5. メーカーや卸売業者等の生産・流通業者に対し、梱包材や包装材の簡素化や回収を依頼する。
6. 分包の商品の使用を控える。
7. 酒類、ジュース、しょうゆ等はリユース容器を使用した商品を仕入れる。 等

【事務所・オフィス】

1. 事務用紙の使用を控える。(文書の共有、電子化によるペーパーレス化、両面使用)
2. リースやレンタル用品を活用する。
3. マイボトルを使用し、使い捨て容器(紙コップ等)の使用量を減らす。
4. 段ボールを再使用する。
5. 不要となった事務用紙をメモ用紙として再使用する。
6. 使用済のファイル、フォルダ、ファイル等は内部用として再使用する。 等

【製造業】

1. 生産・環境負荷の低い製品の企画・販売を実施する。
2. 素材、設計の改善により、寿命の長い製品を開発・生産する。
3. 製品の小型化等、同一機能に対する資源使用量を削減する。
4. 生産・加工段階での包装、梱包について、簡易包装に努める。 等

【文化施設等】

1. 紙コップ、ペーパータオル等使い捨て用品の提供を控える。
2. ごみ箱は必要最低限とし、出来るだけ置かないようにする。
3. メーカーや卸売業者等の生産・流通業者に対し、梱包材や包装材の簡素化や回収を依頼する。
4. リユース容器やデポジット制の商品を採用する。 等

【共通】

1. ごみの排出量や資源化量を把握する。
2. ごみや資源ごみの保管場所のスペースをできるだけ十分確保し、適切に管理する。
3. ごみの減量や資源化の意義について、社内での環境学習を実施する。
4. 環境への取組について、情報提供に努める。
5. 「スリム・リサイクル宣言の店」として登録する。(イメージアップ)
6. ISO等の環境マネジメントシステムを導入する。 等

★「ごみ減量化・再資源化推進宣言の店（スリム・リサイクル宣言の店）」

本市では、ごみ減量化・再資源化を心掛け行動している店舗、事業所等を「ごみ減量化・再資源化推進宣言の店」（愛称：スリム・リサイクル宣言の店）として指定しています。



（取組内容）

- (1) 資源物（牛乳パック，空き缶，トレイ等）の回収推進
- (2) 簡易包装の推進
- (3) 使い捨て容器，製品の使用削減
- (4) 買い物袋の再利用促進
- (5) 再生製品の使用と販売
- (6) 店舗，事業所等で発生する紙類，瓶類，缶類等のリサイクルの推進
- (7) 広告，チラシ，事務用紙等への再生紙使用促進と使用量の抑制
- (8) 市民へのごみ減量化，再資源化の呼びかけ
- (9) 従業員へのごみ減量化，再資源化教育の推進
- (10) 地域のカレーセール等の場の提供
- (11) その他各店舗，事業所等の創意，工夫によるごみ減量化，再資源化の推進

● 店頭回収とは

（75ページ方策③関連）

『店頭回収』も積極的に利用し，資源ごみはリサイクル！

市内のスーパー等では，店頭には様々な資源ごみ（食品トレイ，卵パック，ペットボトル，缶，牛乳パック等）の回収ボックスを設置し回収することで，市民の利便性の向上を図るとともに，資源の有効利用に積極的に取り組んでいるお店があります。

買い物に行く時は，資源ごみをマイバッグに入れて回収ボックスに出し，買い物したものをマイバッグに入れて帰れば，資源ごみの「リサイクル」とレジ袋削減によるごみの「リデュース」が出来て一石二鳥です！

本市の店頭回収量

単位：t/年

項目\年度	22	23	24	25	26
店頭回収量	227	205	224	226	228

ごみの減量化・再資源化に取り組むことで

ごみ処理経費を削減することができます！

ごみの減量化・再資源化を推進し、最終処分量を予測値から目標値まで減量することで、「処分費」は平成38年度までに約4,100万円のコストを削減することができます。

以下において、最終処分量の予測値及び目標値と削減コストの推移を示します。

	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
予測値	5,181 t	5,175 t	5,178 t	5,163 t	5,157 t	5,152 t	5,156 t	5,142 t	5,137 t	5,110 t
減量	-113 t	-188 t	-272 t	-338 t	-413 t	-489 t	-574 t	-641 t	-717 t	-771 t
目標値	5,068 t	4,987 t	4,906 t	4,825 t	4,744 t	4,663 t	4,582 t	4,501 t	4,420 t	4,339 t

埋立ての「処分費」単価は、今後上昇することは確かですが、削減コストは、平成27年度の処分費単価（1t当たり9,072円）で試算しています。

